

小学校社会科副読本

# かさま



笠間特別観光大使  
「笠間のいな吉」<sup>登録</sup>



# わたしたち笠間市民のねがい

## — 笠間市民憲章 —

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「すみよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう

健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう

歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう

思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう

きまを守り、安心してやすらぎのあるまちにしよう

平成19年1月1日制定



### 市章

3市町（旧笠間市・旧友部町・旧岩間町）が1つになったことを意味する「わ」で、笠間市の頭文字「K」をあらわしています。人も緑も水もいきいきと輝く姿や、駅や高速道路などの交通の中心として便利なことも表し、「すみよいまち、おとずれてよいまち、かさま」をイメージしています。



### 市の花 きく

笠間市は、むかしから菊まつりや菊人形が有名です。市内でも菊の栽培が盛んにおこなわれています。また、菊は、旧笠間市と旧友部町の花であったことから、市民に親しまれている花といえます。



### 市の木 さくら

笠間市内には、愛宕山、北山公園、佐白山など、桜のきれいな所がたくさんあります。春には花があちこちで咲くことから、桜まつりが市内各所で行われています。また、さくらは、旧岩間町の木であったことから、市民にとっても身近な樹木といえます。



### 市の鳥 うぐいす

笠間市内中に生息しているうぐいすは、鳴き声が美しく、春のおとずれを感じさせてくれ、自然にめぐまれた笠間市をイメージできます。また、うぐいすは、旧友部町の鳥であったことから、市民にとって身近で親しまれている鳥といえます。

# も く じ

<b>1</b> わたしたちのまち みんなのまち	2	<b>5</b> 住みよいくらしを つくる	68
・ 学校のまわり	2	<b>1</b> 水はどこから	68
<b>1</b> 市の様子	4	<b>2</b> ごみのしよりと利用	74
<b>2</b> はたらく人と わたしたちのくらし	16	<b>6</b> 自然災害から くらしを守る	86
<b>1</b> 農家の仕事	16	<b>1</b> 地震からくらしを守る	88
<b>1</b> 工場の仕事	24	<b>7</b> きょう土の伝統・ 文化と先人たち	100
<b>2</b> 店ではたらく人	30	<b>1</b> 残したいもの 伝えたいもの	100
<b>3</b> くらしを守る	38	<b>2</b> 地いきの発てんに つくした人々	105
<b>1</b> 火事をふせぐ	38		
<b>2</b> 事故や事件から くらしを守る	46		
<b>4</b> 市のうつりかわり	52		
<b>1</b> 市の様子と人々の くらしのうつりかわり	52		



ゆうまさん



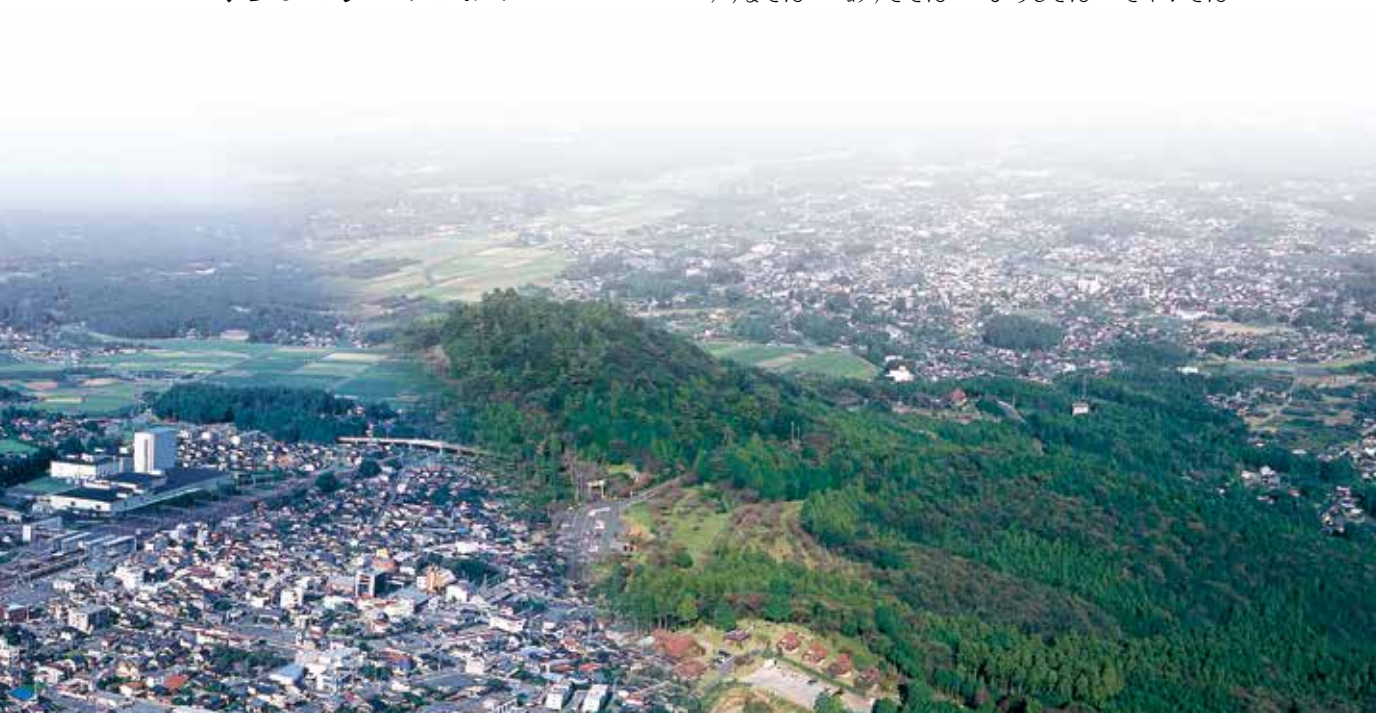
ありさん



ひろしさん



さやかさん



## 「かさま」をつかうみなさんへ

かさましきょういっくいんかいきょういっくちょう いま いずみ ひろし  
笠間市教育委員会教育長 今 泉 寛

みなさんの住んでいる「笠間市」は、茨城県のほぼ中央にあります。豊かな自然にめぐまれ、米、野菜、くだもの、生花などの産地として有名です。また、伝統工芸である笠間焼は世界にも知られており、多くの陶芸家が活躍しています。神社やお寺、お城の跡など文化財も多く、長い歴史と伝統をもつことがうかがわれます。

3・4年生の社会科では、みなさんが住んでいる笠間市の「市の様子」「人々の仕事や暮らし」「暮らしを守るしくみ」「住みよいくらしをつくるための工夫」などを学習します。ここでは、“なぜだろう”という疑問を持ちながら、自分自身で問題を考え、見通しを持ち、友だちと協力して調べ、わかったことをまとめ、他の人にわかりやすく伝える、という活動が大切です。そのために、この本をもとにして、わたしたちの郷土「笠間市」のことを学んでください。

さらに、「笠間市」が大きく発展するために、自分に何ができるか考え、正しい見方や実行する力を育て、これからの社会を創る人・担う人になってほしいと願っています。

最後に、この本をつくってくださった方々に、みなさんとも感謝したいと思います。

# さあ 社会科の学習がはじまるよ！



「社会科ってどんなことを学習するのですか。」



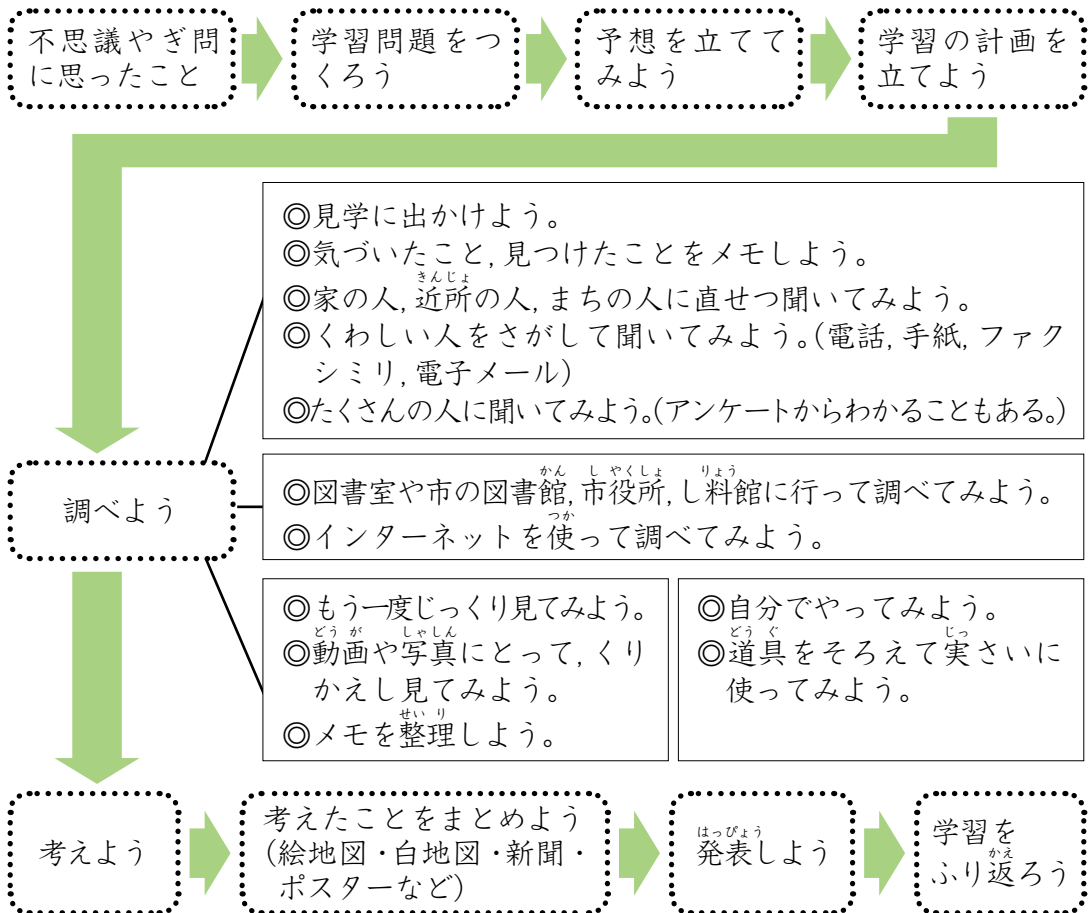
「どんなふうに学習をすすめてらいいのですか。」

人々のくらしの様子を学んだり、調べたりすることからはじめます。そして、そのことから「自分の考え」をもつ教科です。ひと、もの、社会（世の中）についてさまざまなつながりが見えたり、分かったりすることをめざします。

まず、不思議やぎ問に思ったことをもとに、学習問題をつくります。次に、学習問題について「もしかしたら、こうではないだろうか。」と、予想してみましよう。そして予想したことを調べていきます。



## 社会科学習のすすめ方

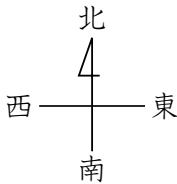


# 1 わたしたちのまち みんなのまち

学校のまわりを  
ながめてみましょう。

## ※方位じしん

赤いはりのさす  
方角が北です。地図  
はふつう、北を上  
にあらわします。



岩間第二小学校の北がわ

## ● 学校のまわり

### 学校の東西南北

それぞれの学校の近くで、高いところ  
から市の様子<sup>ようす</sup>をながめることにしました。

まず、※方位<sup>ほうい</sup>じしんを使って、北<sup>ほう</sup>の方  
角<sup>かく</sup>をたしかめました。そして、北の方  
からじゅん番に見てみました。



「あそこに見える高いたて<sup>もの</sup>物は、  
何かな？」

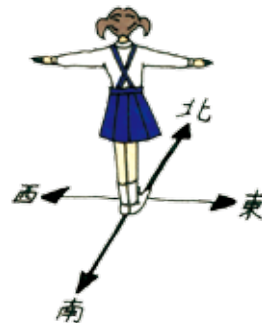


「わたしの家は、どこかしら？  
あっ、あっちの方角なんだ。」



あそこやあっちでは、よく  
わかりませんね。

北を向いて両手<sup>りょうて</sup>を広げると、  
右は東、左は西、うしろは南  
になります。





「岩間第二小学校の北の方角には、橋<sup>はし</sup>が見えるよ。何という川が流れているのかな。」



「友部小学校のまわりには、家がたくさん集ま<sup>あつ</sup>まっているんだね。」



「大原小学校の東の方角には、ちゅう車場があるね。」



「岩間第一小学校の南の方角には、駅が見えるよ。」



友部小学校の西がわ



大原小学校の東がわ



岩間第一小学校の南がわ

みんなで話し合っていると、わからないことや、もっと調<sup>しら</sup>べたいことが出てきました。

そこで、今<sup>こんど</sup>度は、学校のまわりのたんけんに出かけることにしました。

みんなでたんけんに行って、もっとくわしく調べてみましょう。



# 1 市の様子

わたしたちの市は  
どこにあり、どのよ  
うなところがあるの  
でしょうか。

## 市の地図を見て

ありさんたちは、市  
の地図や写真を見ながら、  
知っていることについて  
話し合っています。



笠間市とそのまわり



「笠間市には、昔お城  
があったんだよね。」



「笠間城や宍戸城が  
あったと聞いたよ。」



「なんというとの様か  
が住んでいたのかな。」



笠間城あと



「これは陶芸美術館  
だね。」



「笠間市は陶芸が有名  
なまちだからね。いろ  
んなイベントを行って  
いるよ。」



陶芸美術館





北山公園（夏）



北山公園（秋）



「北山公園は、季節によって景色が全然違うんだよ。」



「笠間稲荷神社ではきくまつりが行われたりするね。」



笠間稲荷神社



「笠間稲荷神社の周辺には、いろんな店がなっているよ。」



笠間稲荷神社の周辺



「友部駅には、常磐線と水戸線の2本が通っていて、多くの人に利用されているね。」



友部駅

笠間市の土地の高さや広がりは、どのようになっているのでしょうか。

## 市の土地の高さや広がり

ゆうまさんのグループでは、地図や写真を見て、笠間市の土地の高さや広がりについて調べることにしました。



山 (愛宕山)  
あたごさん



ひくい土地が広がるどころ



「市の北がわから南がわには山があり，土地が高くなっているね。」



「市の東がわは土地がひくくなっているね。」



「土地の高さがひくい所には駅や学校がたくさんあるね。」



「笠間稲荷神社のまわりには，たて物が多くあるね。」

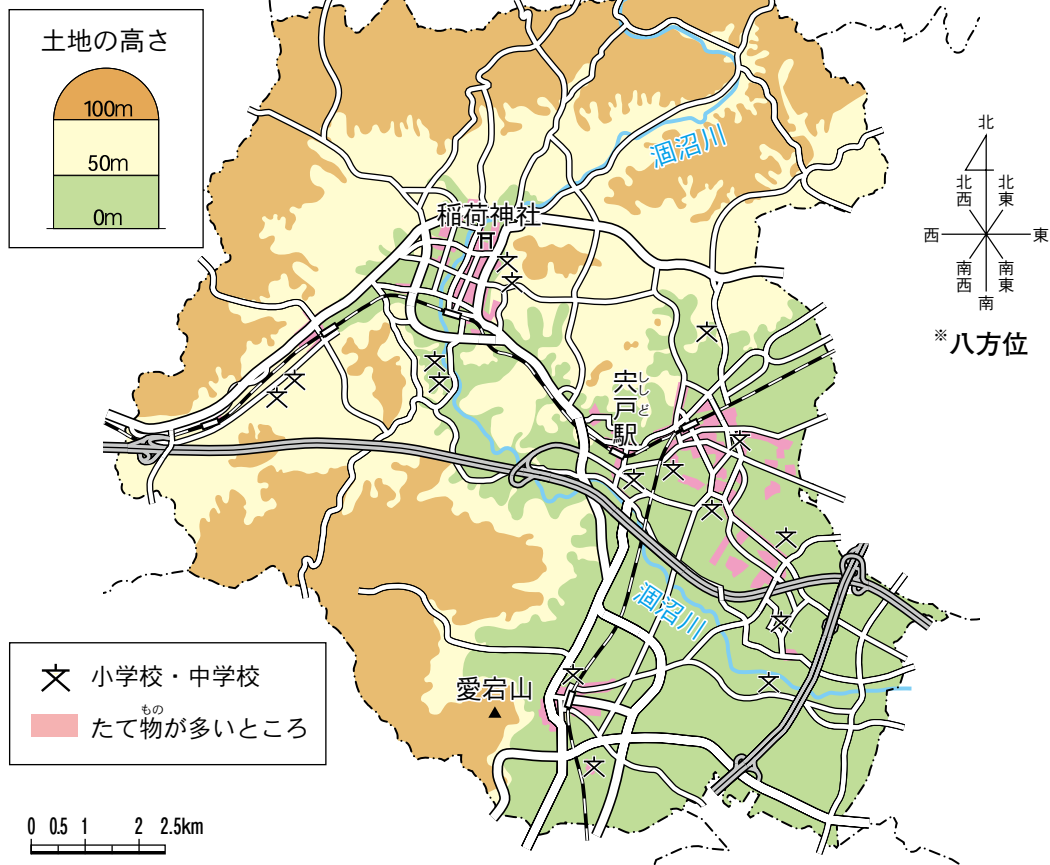


ししど  
笠間駅



笠間稲荷神社のまわり

# 笠間市の土地の高さ



文 小学校・中学校  
 たて物が多いところ

0 0.5 1 2 2.5km



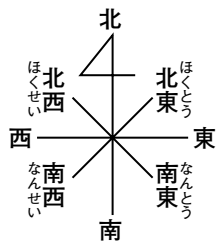
「笠間市には<sup>ひぬまがわ</sup>利根川が流れているね。」



「笠間市のどの方角からどの方角に流れているのかな。」

## ※八方位

東西南北だけよりも、くわしく方位をあらわすことができます。



方位の表し方



利根川

## 市の土地の<sup>つか</sup>使われ方

笠間市の土地は、  
どのように使われて  
いるのでしょうか。



「ショッピングセンターやスーパー  
マーケットがあります。」



「お店や大きなたて物は駅の<sup>もの</sup>周辺が多いです。人がた<sup>しゅうへん</sup>くさん  
集まるからかな。」



「川の<sup>しゅうへん</sup>周辺に田が多いのは水を<sup>ひ</sup>引きやすいからだね。」



「くりや梨<sup>なし</sup>などのかじゅ<sup>えん</sup>園もたくさん見るね。」



「山や林も多くあるね。」



ショッピングセンター



友部駅南口

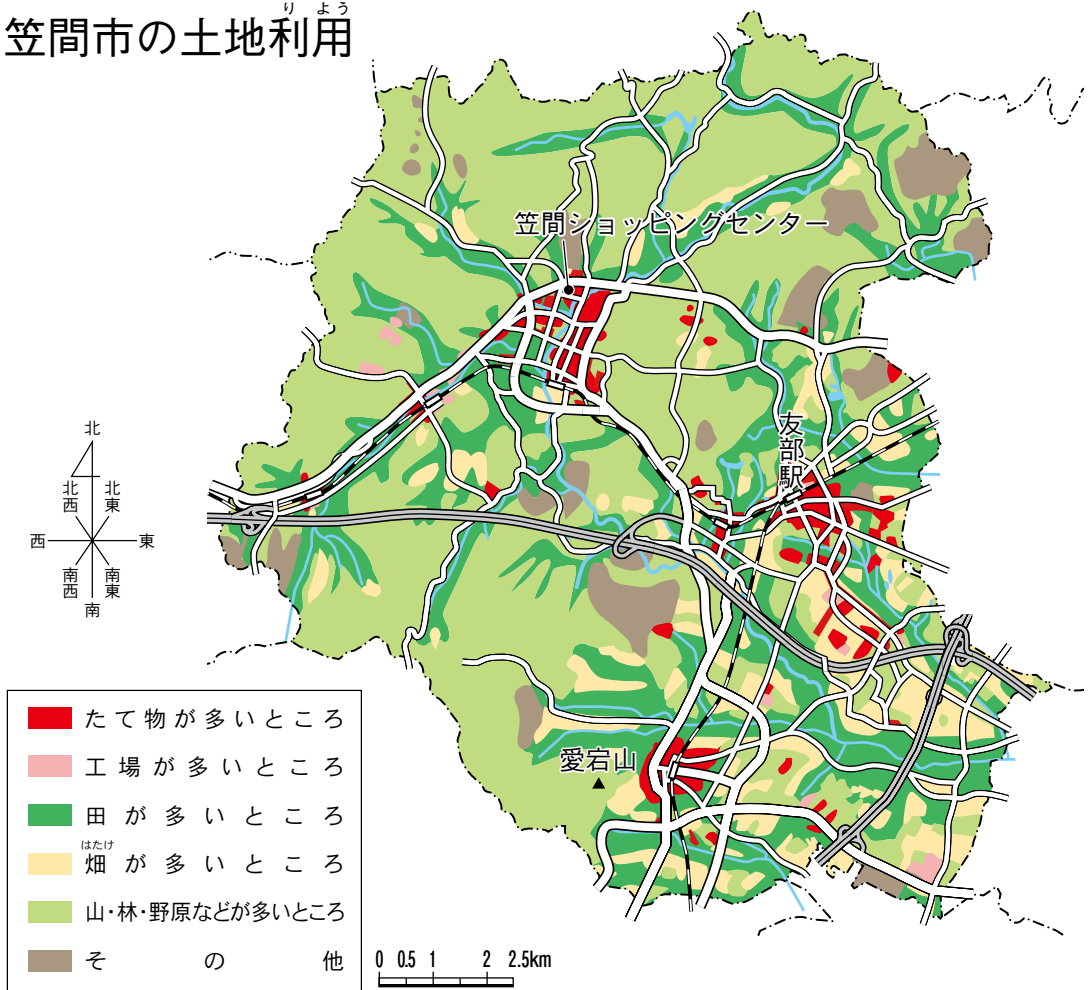


田



かじゅ<sup>えん</sup>園

# 笠間市の土地利用<sup>りよう</sup>



笠間市の土地の使われ方についてわかったことをまとめよう。



「川ぞいに田が広がっているよ。」



「駅の周辺にたて物が多く見られるね。」



「市の西がわや南東がわに工場が多いね。」

笠間市の交通は、  
どのように広がって  
いるのでしょうか。

## 市の交通の様子

さやかさんたちは、交通の様子に  
ついてグループで話し合っています。



「友部駅から常磐線に乗って東京の上野動物園まで行きました。」



「わたしの父は常磐自動車道の岩間インターチェンジをよく利用します。」



「わたしは、高速バスで、東京の秋葉原まで行ったことがあります。」



「国道も50号線や355号線が通っていて、たくさんの車が走っています。バイパスもあって、早く目的地にたつことができます。」



友部駅

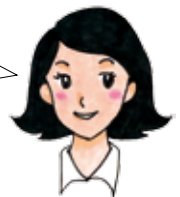


友部ジャンクション



高速バス

笠間市の交通  
の様子について、  
分かったことを  
まとめましょう。



# おも 笠間市の主な交通



「鉄道は常磐線と水戸線が通っているね。」



「高速道路は、常磐自動車道と北関東自動車道が通っているよ。高速バスも走っているね。」



「高速道路と国道がつながっていて、笠間市のいろいろなところから高速道路を利用できるね。」

笠間市の公共しせつはどこにあり、どのようなはたらきをしているのでしょうか。

## 市の公共<sup>こうきょう</sup>しせつ

ありさんのグループは、市にある公共しせつについて調<sup>しら</sup>べることになりました。



市役所<sup>ちようしゃ</sup>庁舎



笠間<sup>としよかん</sup>図書館



ち<sup>ち</sup>こ<sup>こうりゅう</sup>りゅう  
地いき交流センターいわま「あたご」



げいじゆつ<sup>げいじゆつ</sup> もり<sup>もり</sup>こうえん<sup>こうえん</sup>  
笠間芸術の森公園



「市には、さまざまなしゅるいの公共しせつがあるんだね。」



「市役所<sup>しやくしよ</sup>には、赤ちゃんをつれた人、仕事<sup>しごと</sup>をしている人、生活についてそうだんしている人などがいました。」

ありさんたちは、市役所ではどんな仕事をしているのか、話を聞くことにしました。





笠間市にのこる古  
いたて物には、ど  
のようなものがある  
のでしょうか。

## 市に古くからのこるたて物<sup>もの</sup>

ありささんたちは、市に古くからの  
こるたて物をさがしました。



いなりじんじゃ  
**笠間稲荷神社**

1360年以上の歴史<sup>れきし</sup>がある  
神社。毎年たくさんのおま  
いりにおとずれます。



さいねんじ  
**西念寺**

じょうどしんしゅうはっしょうけいだい  
浄土真宗の発祥の寺。境内の  
いちようけんてんねんきねんぶつ  
銀杏は、県の天然記念物に指定  
されています。



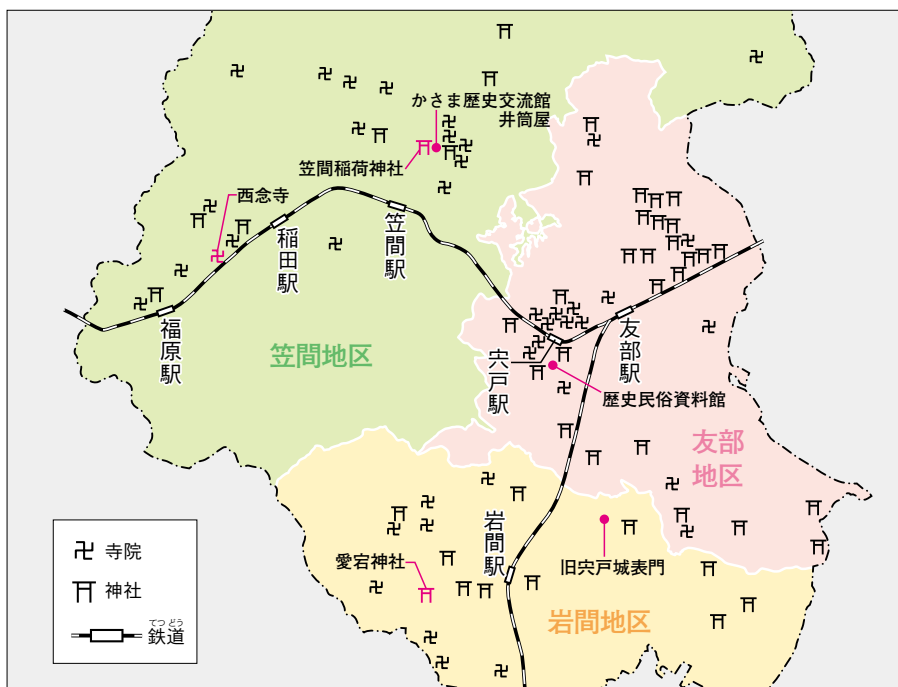
れきし みんぞくしりょうかん  
**歴史民俗資料館**

元は宍戸町役場。たて物の中  
には、友部地区の遺跡<sup>いせき</sup>から見つ  
けられたものなどが展示<sup>てんじ</sup>されて  
います。



きゅうししどじょうおもてもん  
**旧宍戸城表門**

ほんじゅうようぶんか  
宍戸藩の表門。県の重要文化  
さいし  
財に指定されています。



笠間市の古くからのこるたて物



「地図を見ると、笠間地区や友部地区に神社や寺が多いことがわかります。」



「笠間稲荷神社で行われるきくまつりには、多くの人たちがきくを見に来られるそうです。市全体では、やく1万ばちのきくがかざられます。」



「<sup>あたご</sup>愛宕神社は、日本三大<sup>ひぶせ</sup>火防神社のひとつといわれています。806年にたてられたといわれる歴史ある神社です。」



「<sup>こうりゅうかん いづつ や</sup>かさま歴史交流館井筒屋は、<sup>めいじ</sup>明治時代の<sup>もくぞう</sup>木造3階だてのたて物を、昔の<sup>ふんいき</sup>ふんいきをのこしつつ、新しくしました。笠間の歴史<sup>かんこう</sup>や観光<sup>はっしん</sup>について発信しています。」



笠間のきくまつり



愛宕神社



かさま歴史交流館井筒屋

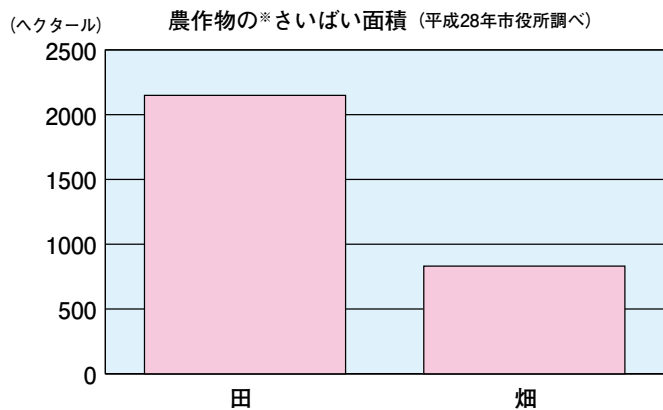
## 2 はたらく人とわたしたちの暮らし

笠間市ではどのような作物が作られているのでしょうか。

※さいばい面積  
のうさくぶつ  
農作物をつくっている土地の広さのことです。

### 1 のうか しごと 農家の仕事

さやかさんたちは、下のグラフや写真を見ながら、笠間市の田や畑では何をつくっているのか、農家の人はどんな仕事をしているのか話し合いました。



くりづくり (岩間地区)



きくづくり (友部地区)



「笠間市では、田の面積が広いね。」



「ほかには、どんなものをつくっているのかな。」



「くりやきくづくりがさかんだって聞いたけれど、どのようにつくっているのだろう。」



「農家の人はどことなくふうや努力どりよくをしているのかな。」

きくはどのように  
つくられているので  
しょうか。

## きくづくり

市の南東の<sup>なむさんづけ</sup>随分附や<sup>ゆざき</sup>湯崎では、きく  
づくりがさかんに行われています。

ありささんたちは、近くの農家をた  
ずね、きくづくりについて<sup>しら</sup>調べること  
にしました。

### 1年間の仕事

月	仕事
1	ビニールハウスの中に 入れておく
2	
3	
4	なえと畑のじゅんぴをする
5	畑に植える
6	消毒
7	出荷
8	
9	
10	
11	ビニールハウスの中に入れておく
12	



「どうしてきくづくりがさか  
んなんだろう。」



「どうしてビニールハウスで  
つくるのかな。」



「農家の人ほとんどなくふうや  
<sup>どりよく</sup>努力をしているんだろう。」



### きくづくり農家の方の話

<sup>きゅう</sup>旧友部町の農家が、一かぶのきくなえのさいば  
いを始めたのがきっかけで、<sup>しょうわ</sup>昭和22年ごろから  
きくづくりが始まりました。初めは少しの農家し  
かつくっていませんでしたが、だんだん<sup>そだ</sup>育てる人  
がふえてきました。

仕事は、<sup>しょうどく</sup>消毒や<sup>しゅつか</sup>出荷の<sup>さぎょう</sup>作業に気  
をつかいます。また、夜、<sup>でんきゅう</sup>電球で  
明るくすることで、花がさく<sup>しき</sup>時期  
を<sup>ちやうせつ</sup>調節するくふうもしています。



米はどのように  
つくられているので  
しょうか。

## 米づくり

ひろしさんたちは、毎日食べている  
お米がどのようにしてつくられている  
のかを、調べることにしました。



しろかき（4月）



田植え（5月）

### 1年間の仕事

月	仕事
1	土づくり
3	種 <small>たね</small> のじゅんび, 土を細かくする
4	なえを <small>そだ</small> 育てる, しろかき
5	田植え, じょ草 <small>ざい</small> 剤をまく
6	田の周 <small>まわ</small> りの草かり
7	↓消毒 <small>しょうどく</small> (害虫 <small>がい</small> や病 <small>びょう</small> 気 <small>き</small> から守 <small>まも</small> る)
8	↓空中さんぷ
9	いねかり・出荷 <small>しゅつか</small>
10	
11	土づくり, 田をおこす
12	

### 笠間でできる米のめいがら

コシヒカリ	あきたこまち
ゆめひたち	かさまのう米



「田の水は、どこから  
引いているのかな。」



「きかいさぎょうを使って作業  
しているんだね。何を  
するきかいなんだろう。」



「1年中, 仕事しごとがある  
んだね。」



「天気とお米ができる  
りょうは, 関係かんけいあるの  
かな。」

笠間市の水田は、区画整理されて、米づくりがしやすくなっています。田の大きさを整えて、仕事をしやすくするのはです。

田の水は山から流れてきた水をいったん池にためておいて、川を通して各自の田に引いています。水不足がいしょうのため、現在は霞ヶ浦の水も引いています。



のうやく くうちゅう  
農薬の空中さんぷ（8月）



いねかり（9月）



「米づくりにも、いろいろなくふうがあるんだね。」



「つくったお米はどこに持っていくのかな。」



## 米づくり農家の方の話

おいしいお米をつくるためには、土づくりが大切です。ひりょうをまいたり、害虫や病気からいねを守るために薬をまいたりして、いろいろなくふうをしています。気温についてですが、田植えの時期はひくくもなく高くもないのが最てきです。夏は昼間と夜の温度差が大きいほどよい米ができるのです。また田植えが終わった6月には特に水が必要なので雨がたくさんふってほしいです。

近ごろでは、米づくりの仕事をする人が高れいになり、わかい人が農業をつがないたため、お米をつくる農家がへっているのがなやみです。

くりはどのように  
つくられているので  
しょうか。

## くりづくり

笠間市の南がわでは、くりづくりが  
さかんに行なわれています。

ありささんたちは、くりづくりのおじさ  
んの話をもとに、まとめてみることにしました。



しゅうかく

### 1年間の仕事

月	仕事
1	えだ切り
2	↓
3	ひりょうまき
4	↓
5	草かり, 消毒 <small>しょうどく</small>
6	↓
7	↓
8	↓
9	しゅうかく・出荷
10	↓
11	↓
12	ひりょうをやる, えだ切り

### くりづくり農家の方の話

畑はたけに牛ふんを入れて、よい土づくりを  
しています。いらないえだを切ったり、  
草かりびょうきをしたりしています。くりの病気を  
ふせぐために、薬くすりをまいたり、みきを食いあ  
らす虫をたい治したりします。

とれたくりは、選果場せんかじょうへ持って行き、選果場  
でくりの大きさをきかいで分けて、箱はこづめされ  
ます。選果場ができてとても便利になりました。

くりの品種ひんしゅによって、しゅうかくする時期じきが  
ちがいます。しゅうかくしてからすぐ出荷しゅっかせず、1か月ほど冷ぞ  
う庫れいに入れてくりのあまさを上げてから時期をずらして出荷する  
こともあります。あまさを上げた大つぶのくりとしては極みき（き  
わみ）などのめいゆうめいがらが有名です。





# せんかじょう しごと 選果場の仕事

ありさんは、くりの選果場へ行って、くりが出荷されるまでの仕事を調べることにしました。

## くりが選果場に あつ 集められると

### 選果場

とれたくりを品しつや  
大ききで分けて出荷の  
じゅんぴをするところ



くりが運ばれる。  
「昼間とったくりが夕方にはこ  
こばれてくるのよ。」



くりをきれいにする。  
「くりのよごれをおとし  
ているんだね。」



出荷する。  
「いばらきけん  
茨城県のくりの生産額は、  
日本一なのよ。」



大きき別に分ける。  
「あみの目の大ききによ  
って、自どうてきに分  
けられるのよ。」



悪いくりをひろう。  
「虫食いや病気のくりを  
ひろうんだね。」



いろいろなくりせい品  
「くりせい品にか  
加工される  
ものもあるのね。」



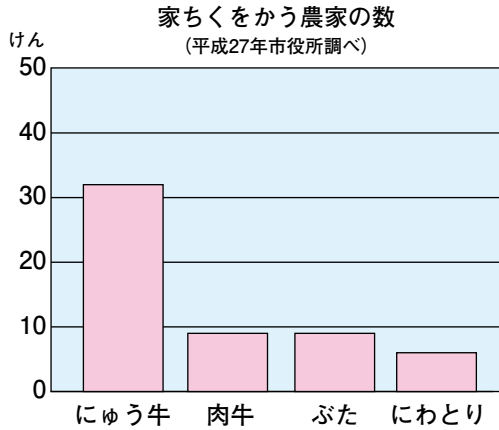
冷ぞう庫に入れる。



家ちくはどのよう  
にかわれているので  
しょうか。

## 家ちくをかう農家<sup>のうか</sup>

ゆうまさんたちは、家ちくをかう農家  
の仕事の様子について、調べてみることに  
しました。



えさをつくる



えさをやる



ちちをしぼる



「にゅう牛をかう農家が多いね。」



「おいしい牛にゅうをつくるために、どんなくふうや  
ど力<sup>りよく</sup>をしているのかな。」



「毎日、朝5時半から仕事をしているんだって。」

農業協同組合は  
どのような仕事を  
しているのでしょうか。

## のうぎようきょう くみあい ジエイエー 農業協同組合(JA)の仕事

農家の人に、いろいろな作物さくもつが農業協同組合に運ばれると聞いたので、農業協同組合の仕事について調べることになりました。



常陸農業協同組合笠間支店



「農業協同組合の方に話を聞いてきたよ。」



「市には、3か所の支店てんがあるそうよ。」



## ひたち 常陸農業協同組合の方の話

農業協同組合は、農家の人たちのくらしがよくなるように、いろいろな仕事をしています。

農家から集められた、野菜さい・きく・くりなどは、しゅうかく時期じきに合わせて、市場おくへ送り出します。また、米や野菜などのしゅうかくが多くなるように、定期的ていきてきに農家に伝えていきます。それから、ひりょう・農薬のうやく・農具のうぐ・ビニールなど農家に必要な物ひつようものをつねにとりそろえています。現在は、野菜さいなどの直売所ちよくばいじょを通して、笠間市でつくったものを地いきの人たちに食べてもらえるよう力を入れています。

笠間市には、どんな工場があるのか話し合ってみましょう。

## 1 工場の仕事

笠間市には、いろいろな工場があります。さやかさんたちは、下の写真をもとに、工場の様子について話し合ってみました。



石材工場 (旭町)



電子きかい工場 (長兎路)



組み立て式の住たく工場 (北吉原)



工業だん地にある工場 (安居)



「いろいろな種類の工場がたくさんあるね。」



「ぼくの家付近には、大きな石のせい品をつくっている工場があるよ。」



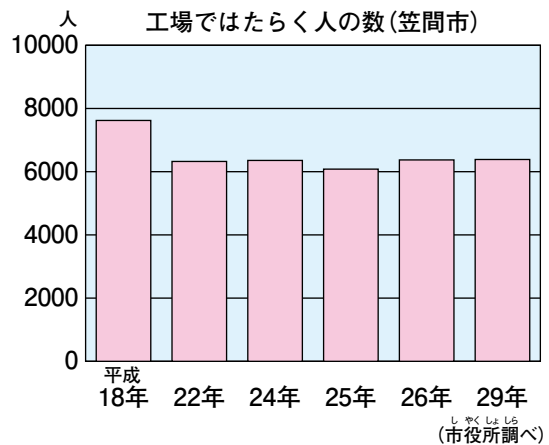
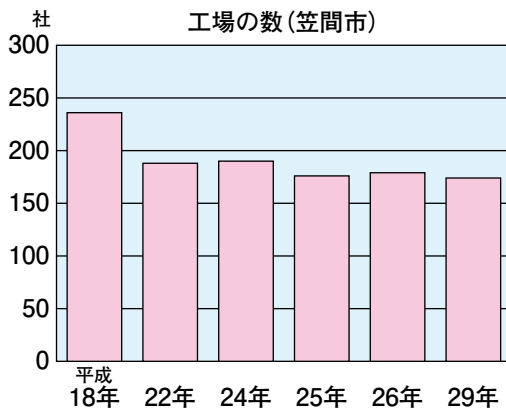
「電子きかい工場では、何をつくっているのかな。」





「笠間市には、工業だん地もあるんだね。」


電子きかい工場で、  
気づいたことやぎも  
んに思ったことを話  
し合いましょう。


さやかさんたちは、大きな工場を見学  
することにしました。





 「平成29年には、およそ170の工場があって、  
6000人以上の人がはたらいているね。」

 「平成18年から比べると工場ではたらく人の数は、  
へっているなあ。」

 「駅からはなれたところに、大きな工場があるそうよ。」

 「工場の中の様子は、どう  
なっているかな。」

 「工場では、どんなくふうや  
ど力をしているのかな。」

 「せい品は、どこに運ばれる  
かな。」

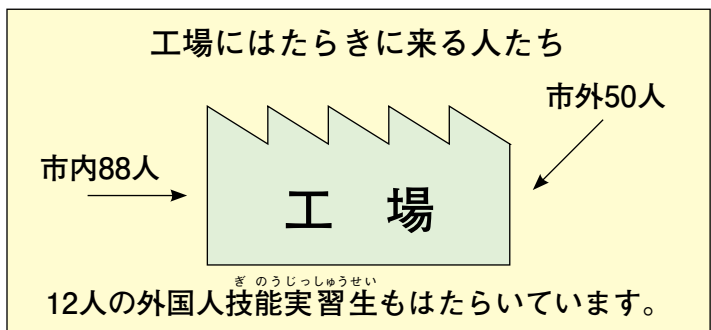
大きな工場の様子  
を見てみたいね。



# 電子きかい工場の様子<sup>ようす</sup>



電子きかい工場（長兎路<sup>ながとろ</sup>）



## ※基板実装

電子部品をプリント基板にのせること。



基板はエアコンやテレビにも使われているよ。



ぼくは、電子きかい工場へ見学に行きました。工場の中はとても明るくきれいでした。工場ではたらく方の話によると、この工場には約150人がはたらきに来ているそうです。おもな仕事は、<sup>きばんじっそう</sup>※基板実装で、電子きかいの中心部分になる大切なものをつくっています。工場では、ロボットなどを使って組み立てていきます。仕事のほとんどがきかい<sup>か</sup>化されています。

基板はどのように  
つくられているので  
しょうか。

工場の様子はどうなっていたか、見学  
したことをもとにまとめました。



工場の中にあるきかい



基板の切りぬき



「最新さいのきかいで、いろいろなしゅるいの部品を  
つくっているんだね。」



「できあがった基板きばんを、きかいを使ってきれいに  
切りとっているね。」



手作業での組み立て



せい品のけんさ



「きかいだけでなく、手作業さぎょうでも部品を組み立てていた  
ね。」



「せい品が正しくつくられているかどうかを、きかいが  
けんさし、モニターにひとつひとつし出されていく  
んだ。」

基板<sup>きばん</sup>をつくる工場では、どのようなふうをしているのでしょうか。

※しつ度

空気中にふくまれる水分のりょうを指す。



※しつ度を一定にするきかい

## はたらく人のくふう

ゆうまさんたちは、工場ではたらく人の様子<sup>ようす</sup>について調べる<sup>しら</sup>べることになりました。工場ではさまざまなくふうをしていることに気がつきました。



くつからにげる静電気をはかるきかい



ごみをとりのぞくシート

## 工場ではたらく方のお話

工場では電子部品<sup>ぶひん</sup>をあつかっているので、静電気<sup>せいでんき</sup>や小さなごみによってえいきょうをうけてこわれてしまうことがあります。そのために、静電気や小さなごみにはとくに気がついています。わたしたちが着ている服<sup>ふく</sup>は、静電気をふせぐそざいでできています。くつには、静電気をにがすきのうがあります。工場の中に入るときには、くつからにげる静電気をはかるきかいを使ったり、くつについたゴミをとりのぞくシートにのったりして、気をつけています。

また、しつ度にも気をくばっています。あまりかんそうしてしまうといけないので、きりを発生<sup>はっせい</sup>させてかんそうしないようにしています。天じょうにはパイプがひかれていて、つねにしつ度が一定<sup>いっぺい</sup>になるようにしています。

そのほかにも、作業<sup>さぎょう</sup>をしやすいするための部品をつくって基板をこうりつよくついたり、注文<sup>ちゅうもん</sup>されたとおりについたりするくふうをしています。

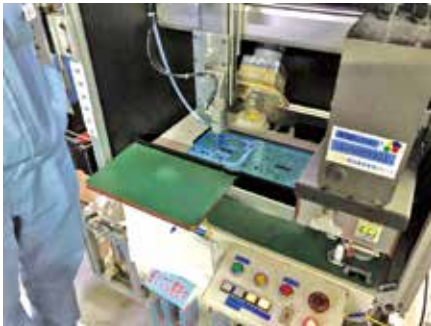




←たくさんの電子部品を組み上げるきかい



←部品を入れたケース



←コーティング



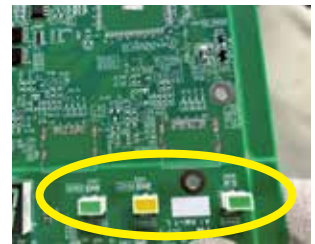
←ぬりのこしは人の手で



「人の手ではつかむのがむずかしい細かい部品でも、きかいが速いスピードで組み上げていたよ。」



「部品を入れたケースには数がぴったり入っているね。作業がおわって部品がのこっているとつけわすれに気がつくね。」



細かい部品



「じょうぶにするためにコーティングをしています。ブラックライトでひかるので、どこをぬったかわかるよ。」



「きかいがぬりのこしたところを人の手でぬっているね。」



固定する道具



「きかいと人の手で行う作業と上手にわけているんだね。」

細かい部品がずれないように固定する道具は、はたらいっている人が考えたそうよ。



わたしたちはどのような店で買い物をしているのでしょうか。

## 2 店ではたらく人

### よく行く店

家の人によく行く店についてしつもんしました。買い物<sup>もの</sup>に行く店はいろいろあり、店によって行く理由<sup>ゆう</sup>がちがうことがわかりました。



コンビニエンスストア



ホームセンター



でんきでん  
電器店



スーパーマーケット



「ホームセンターでは、歯ブラシやシャンプーなど、生活に必要なものがそろうね。」



「電器店には、スマートフォンやテレビ、冷ぞうこが売られているよ。」

スーパーマーケットの売り場はどのようになっているのでしょうか。

## スーパーマーケットの様子<sup>ようす</sup>

スーパーマーケットの様子や近くの店とのちがいなどについて、見学に行ってくわしく調べることにしました。



「店の中が広いね。品物がたくさんならべてあるね。」



「ちゅう車場も広いね。」



「スーパーマーケットでは、商品をたくさん売するのにどんなくふうをしているのかな。」



しょうひん  
商品だな



ちゅう車場



れいとう  
冷凍コーナー



サービスステーション



ギフトコーナー

スーパーマーケットの売り場には、どのようなくふうがあるのでしょうか。

## 店で発見



くふうした商品のならべ方



調理の仕方のしきょうかい



バラ売り



地元の野菜



セルフレジ



特売の広告

## スーパーマーケットの店長さんの話

スーパーマーケットは生活するためにかかせない、なくてはならない場所です。電気や水道といったライフラインの1つだと考えています。民間のお店ではあるけれど、これからも長くお店を続けて、地いきに住む方がゆたかで便利な生活ができるようにお手伝いしていきたいと考えています。

スーパーマーケットではたらく人は、  
どんな仕事をしているのでしょうか。

スーパーマーケットではたらく人  
スーパーマーケットを見学してみると、  
たくさんの方がはたらいていました。



「みんなで集まって、話し合<sup>あつ</sup>いをしているね。」



「レジでは、買うもののじょうほうを読みとるきかいが  
あってべんりだね。」



「それぞれの場所で分た<sup>しごと</sup>んして仕事をしているね。」



話し合う



レジで計算する



つくる



ならべる

しなもの  
品物はどこから

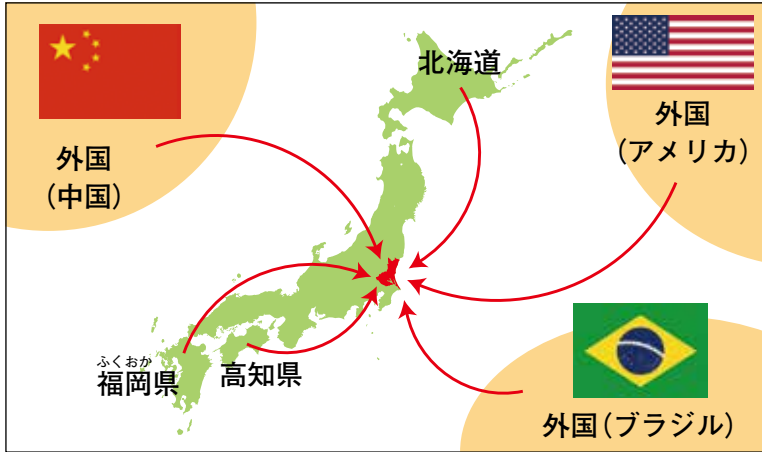
たくさんの品物は、  
どこから運ばれてくる  
のでしょうか。



「ならんでいる品物は、どこから来るのかな。」



「つくられた場所が、それぞれの品物に書いてあるよ。地図帳で見たら、わかるかな。」



外国から来た品物

※リサイクル

つか  
使えなくなっ  
てしまったもの  
をつくり直し  
たり、べつな物  
につくりかえ  
たりして、も  
う一度使える  
ようにするこ  
とです。

まちの人とともに

見学のと中で、「※リサイクルステーション」を見つけました。

せつめい  
説明の**かん**板に書いてあることを、メモしておきました。



お買物マナー



リサイクルステーション

コンビニエンスストアは、どんなところが便利なのでしょうか。

## コンビニエンスストア

市内のあちこちで、コンビニエンスストアを見かけます。



「ほしいものは、だいたいそろっているよね。」

写真を見て、もっと気づいたことがあるかな。



「朝早くから夜おそくまであいているから便利だよ。」



店内のようす



エーティーエム  
A T M・コピー



ならべる



はこぶ

## ショッピングセンター

ショッピングセンターは、どんなところ  
が便利なのですか。

笠間市には、大きなショッピングセンターがあります。



「食べ物だけでなく、  
服や本も売っているね。」



「映画館や遊ぶ所、イベント  
を行う所もあるので、た  
くさんの人が集まるよ。」



いりょう品店



映画館



くつ屋



やおや  
八百屋



本屋



セントラルコート



商店がいには、どんなしゅるいの店があるのでしょうか。

## しょうてん 商店がい

商店がいには、家具<sup>かぐ</sup>だけを売る店、文房具<sup>ぶんぼうぐ</sup>だけを売る店などのせん門店がありました。



「友部<sup>しゅうへん</sup>駅の周辺には商店がいがあるよ。」



「笠間<sup>いなり</sup>稲荷<sup>じんじや</sup>神社<sup>じんじや</sup>近くには、観光客<sup>かんこうきゃく</sup>も多いのでみやげもの店がたくさんありました。」



「商店がいでは、たくさんの店が協力<sup>きょうりやく</sup>してお客<sup>きゃく</sup>さんをよぶくふうをしています。」



「スタンプ券<sup>けん</sup>やスタンプカードを出して、利用<sup>りよう</sup>したくなるくふうをしています。」



みやげもの店



笠間<sup>けん</sup>スタンプ券



笠間稲荷神社近くの商店がい



笠間スタンプカード

### 3 まもくらしを守る

火事をふせぐには、どうすればよいのでしょうか。

#### 1 かじ火事をふせぐ

わたしたちは、火事の写真しゃしんを見ながら話し合いました。



もえてしまった家くんれん (訓練)



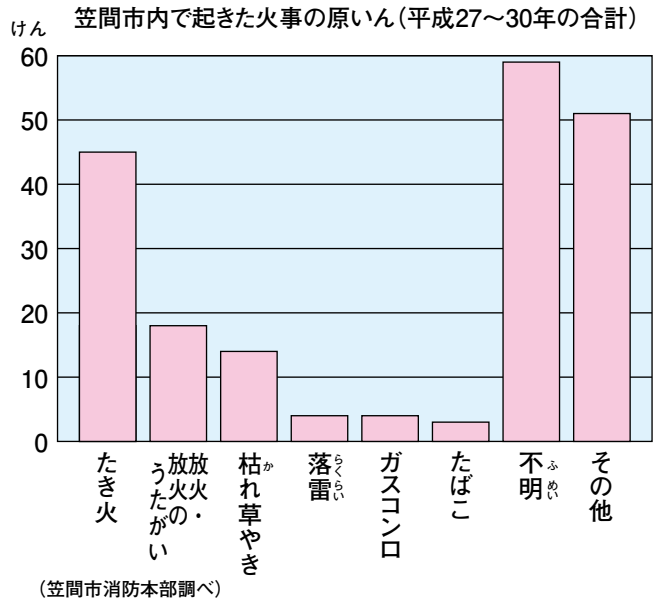
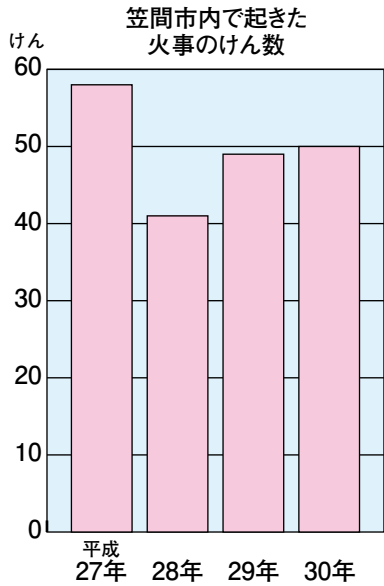
「火のいきおいはすごいね。火事ってこわいな。」



「人の命いのちをうばってしまうこともあるんだよ。」



「笠間市では、火事がどれくらいお起きているのだろう。」



わたしたちは、笠間市内で起きた火事について、話し合いました。



「火事の原いんは、たき火や放火が多いね。原いんがわからない火事も多いんだね。」



「火事をふせぐためには、どうしたらいいのかな？」



「火が出ても、火がまだ小さいうちに消すことができれば、ひ害は少なくてすむよね。」



「もしわたしの家が火事になったらどうしよう。」



「火事があると消防車が出動するね。」

火事から、わたしたちの安全を守るための仕組みや協力について話し合みましょう。



消防しょの人たちは、どのような取り組みをしているのでしょうか。

## 消防しょへ行こう

わたしたちは、連らくの仕組みや消防の仕事しごとをくわしく知るために、消防しょの様子ようすを調べることになりました。

「消防しょの人たちは大変なんだね。」

「いろいろな訓練くんれんをしているね。」

「火を消すだけではなく、防火ぼうかをよびかけたり講習会を開いたりもするそうだよ。」



笠間市消防本部



救助工作車



救急車



救急車の中



救助隊員

## 消防しょの方の話



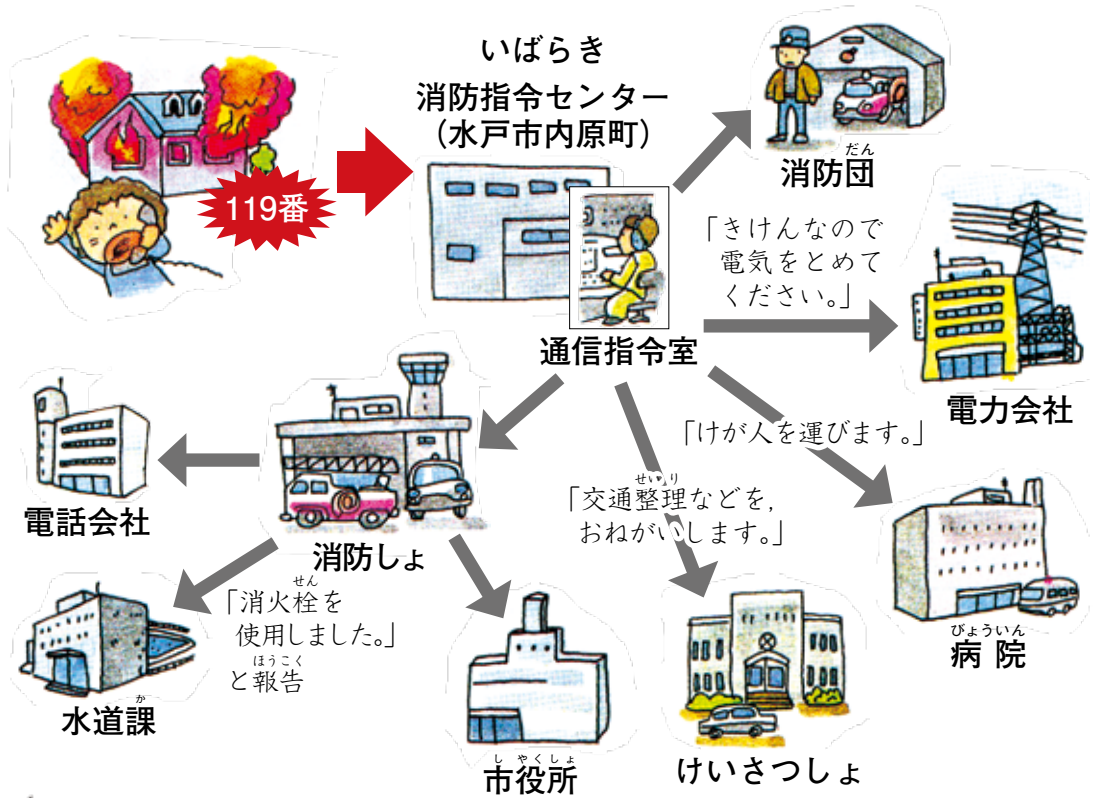
早く消すためには、すばやい連らくと行動が大切です。いばらき消防指令センターしんせいの通信指令室つうしんしんせいでは電話や無線むせんなどで関係かんけいきかんと連らくを取り合ったり、出動しゅつどうできるたいせいを整ととのえたりしています。

消防しょの人は、交代で24時間仕事をしています。そして、いつでも出動し消火できるような訓練くんれんとじゅんぴをしています。

消防しょには、火事を早く消すためにどんな仕組みがあるのでしょうか。

## 通信指令室とさまざまな人々のはたらき

笠間市で火事が起きたら、だれがどのようなはたらきをするのでしょうか。わたしたちは、下の絵を見て話し合いました。



「消防しょ以外の人たちも働いているね。」



### 通信指令室の方の話

119番を受けたいばらき消防指令センターの通信指令室は、消防しょ、消防団、けいさつしょ、病院、電力会社などに連らくします。連らくを受けた消防しょ、消防団は、ただちに出動する仕組みになっています。

電力会社や消防団にも連らくするんだね。



学校には、どんな  
消防せつびがあるの  
でしょうか。

## 学校の中の消防<sup>しょうぼう</sup>せつび

わたしたちはまず、学校の消防せつび  
について<sup>しら</sup>調べることにしました。

カードには見つけたせつびの絵を、  
配置<sup>はいち</sup>図にはせつびがあった場所をかいて  
いくことにしました。



「給食室<sup>きゅうしょく</sup>には、消火器<sup>しょうかき</sup>が多く  
置いてあるね。」



「教室<sup>てんじょう</sup>の天井<sup>ねつかんち</sup>には熱感知器<sup>ちき</sup>が  
一つあるわ。ろう下には何が  
あるかな。」

調べたことをまとめた配置図を  
もとに、気づいたことを話し合  
いました。



「せつびがある場所<sup>ばしょ</sup>や、その  
はたらきを知らない<sup>しらない</sup>と火を消  
すことはできないよ。」



「理科室<sup>りかむ</sup>やろう下<sup>ろうか</sup>、体育館<sup>たいいくかん</sup>  
にも消防せつびがあったよ。」



「消防せつびの役目<sup>やくめ</sup>ごとに  
仲間分けしてみたいな。」

学校は広いから  
みんなで分たんし  
たほうがいいね。



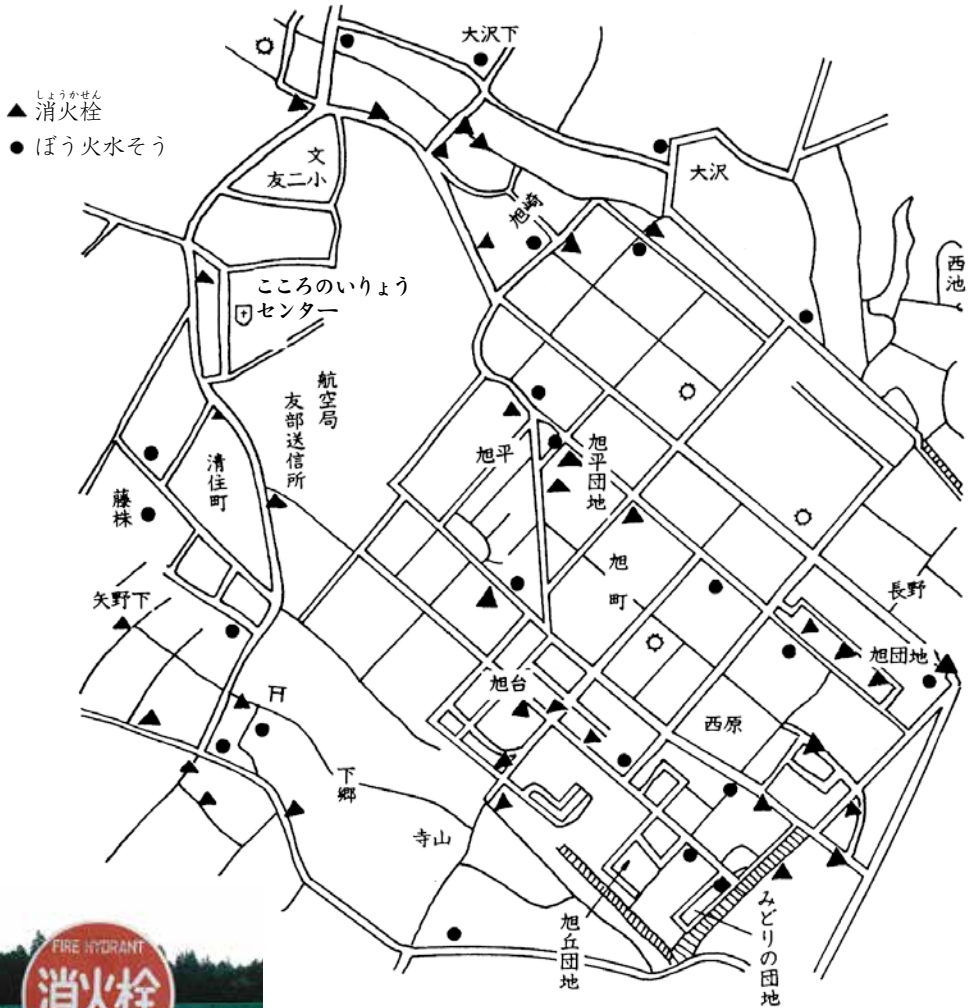
めいわくのかか  
らないように気を  
つけましょう。



家のまわりには、  
どんな消防しせつが  
あるのでしょうか。

## まちの消防しせつをさがそう

わたしたちは、家のまわりにどんな  
消防しせつがあるか調べてみました。



「わたしたちの家のまわりにたくさん  
の消防しせつがあるなんて知ら  
なかった。」



「これは、火事つかのときに水がすぐ  
使えるけようになっているんだね。  
すぐ火が消せるね。」



# 地いきの消防団の取り組み



「ぼくのお父さんは消防団に入っています。消火せんにはホースをつないで火を消すそうだよ。」



「消防団の人たちはどんな仕事をしているのかな。」



消防団



消防訓練

## 消防団の方の話



ふだんは家の仕事や自分の仕事をしています。消防団員として、消防訓練や消防自動車の点検をします。

火事的时候は、かけつけて消火活動を行います。消火したら、火事の後始末もします。



防災行政無線のしせつ



「消防団の他にも、笠間市には防災行政無線というしせつがあるよ。」



「これは、笠間市の人々の安全を守るため、災害の起きそうなときに注意をよびかけているそうよ。」



防災行政無線

## 2 事故や事件からくらしを守る

交通事故から人びとのくらしを守るために、けいさつの人には、どんな仕事をしているのでしょうか。

### 交通事故をふせぐ

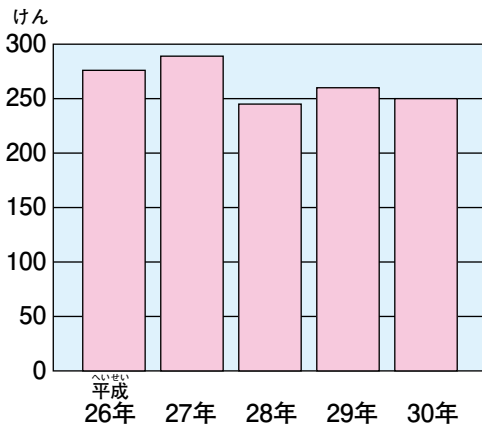
ひろしさんたちは、けいさつの仕事について、くわしく知りたいと思いました。

そこで、交番のおまわりさんを教室にまねいてお話をうかがうことにしました。



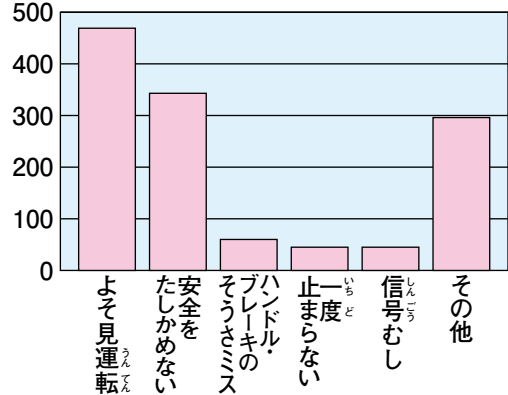
交通事故をふせぐための、仕事をしています。学校の交通安全教室や交通整理、交通じょうほうのていきょうなども仕事の一つです。

交通事故のけん数とうつりかわり(笠間しよかん内)



事故の原いん

けん (笠間しよかん内 平成27年~30年の合計)



交通安全教室



茨城県けいさつ交通かんせいセンター

なくなった自転車は、どのようにして見つかったのでしょうか。



見つかった自転車

さやかさんは、<sup>ほんや</sup>本屋さんの前にとめておいた自転車がなくなってしまい、交番にとどけました。



「自転車がなくなって、こまっています。」



「さやかさんの自転車がとなりの<sup>えき</sup>駅で見つかりました。」

けいさつでは、自転車を見つける仕事だけでも、いろいろな人がかかわっていますね。



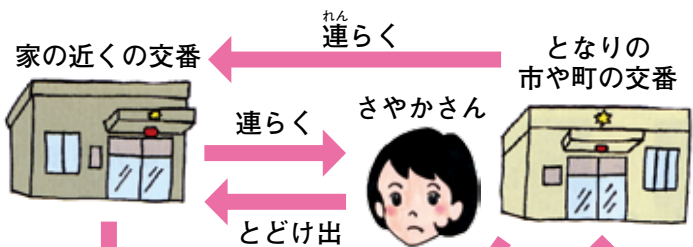
防犯登録証  
B 405483  
茨城県警察

※防犯登録シール

自転車を買ったとき、番号をけいさつしょに登録します。



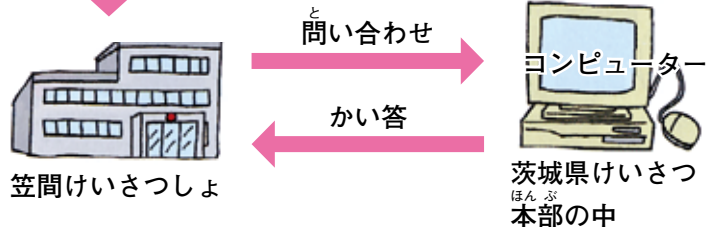
笠間けいさつしょ



自転車がなくなったというとどけ出がありました。場所は△△書店前、日時は16日の11時ごろ、自転車の\*防犯登録番号は〇〇番です。

もち主のわからない自転車があります。防犯登録番号は〇〇番です。

その自転車は、なくなったというとどけ出が出ています。持ち主は笠間市△△のさやかさんです。



けいさつのは、  
まちのどこでどのよ  
うな仕事をしている  
のでしょうか。

## けいさつ<sup>しごと</sup>の仕事

けいさつのが、まちの中で、どんな仕事  
をしているのか、調<sup>しら</sup>べることにしました。



「交番には、どんな用で来る人が  
多いのかな。」



「けいさつの人に会えるのは、交番だけじゃないよ。」

みんなで相<sup>そうだん</sup>談して、仕事さがしカードをつくりました。

仕事さがしメモ  
名前 □□□□

絵

●会った場所

●仕事

●思ったこと、気づいたこと

仕事さがしメモ(1)  
名前 ○○○○

●会った場所  
駅の近くにある交番

●仕事  
・道あんない  
・落<sup>もの</sup>とし物の相談

●思ったこと、気づいたこと  
いろいろな人が、つぎつぎにやってきて、とてもいそがしそう。

仕事さがしメモ(2)  
名前 △△△△

●会った場所  
学校の南の広い<sup>どうろ</sup>道路

●仕事  
・交通いはんのとりにしまり

●思ったこと、気づいたこと  
シートベルトをしていない人に、注意<sup>ちゅうい</sup>をしていたよ。



↑登校<sup>とうこう</sup>しどう



地いきの  
見回り➡

## 交番<sup>こうばん</sup>の方の話



事件や事故<sup>じけん</sup>が起きない  
よう、受け持ち<sup>じこ</sup>の地いきを  
見回るのも、わたしたちの大切な  
仕事です。

まちの人たちの声をよく聞き、地  
いきの様子<sup>ようす</sup>をよく知っておくように  
します。

事件や事故<sup>あんしん</sup>がなく、安心<sup>あんしん</sup>してくら  
せるまちになることを願<sup>ねが</sup>って、仕事  
をしています。



事故にあった車



通信指令室

## 事故が起きたら




ゆうまさんは、110番の電話がどのように伝わるのか、交番のおまわりさんにたずねました。

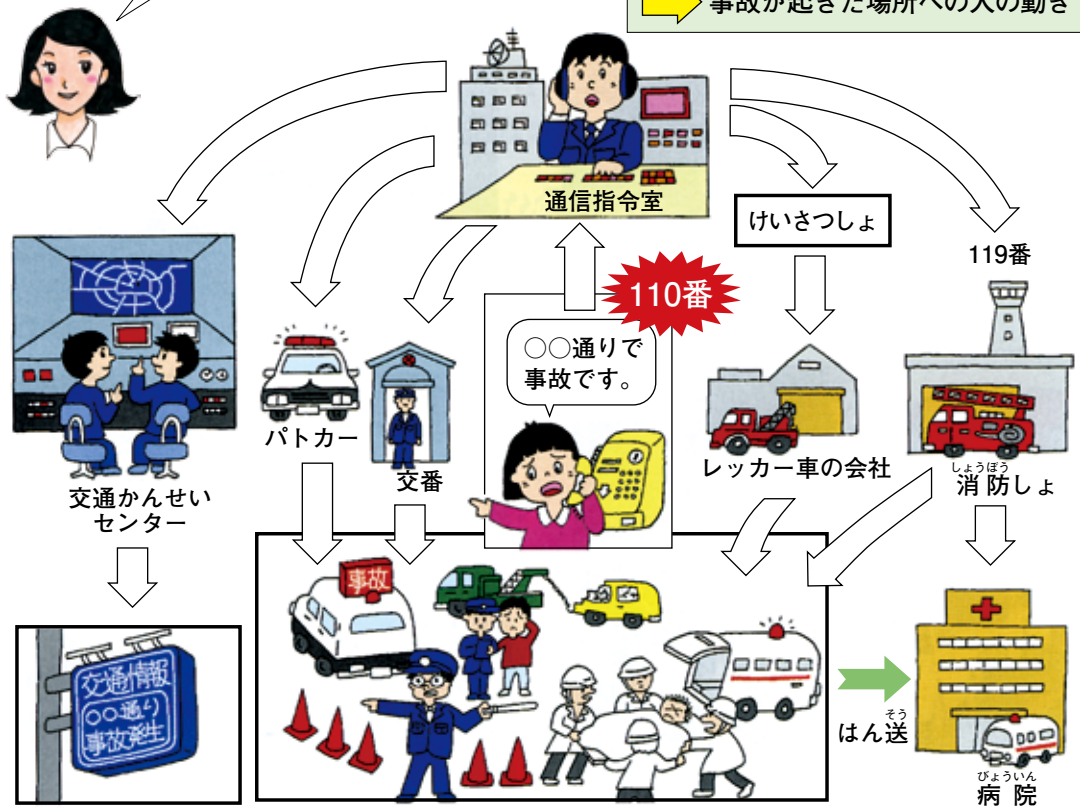


### 交番の方の話

110番の電話は、水戸市にある茨城県けいさつ本部の通信指令室につながります。そこから笠間けいさつしょや交番・ちゅうざい所・パトカーなどに無線で知らせ、事故が起きた場所の近くにいるけいさつ官がすぐに行きます。たくさんの人が協力し合って、事故をすばやくしよ理します。

絵の矢印を右の図のようにぬりわけてみましょう。

-  事故を見た人からの知らせ
-  通信指令室が出した知らせ
-  事故が起きた場所への人の動き



電光けいじ板

事故や事件をふせぐために、まちにはどんなものがあるのでしょうか。

## 安全なまちづくり



「わたしは、いつも学校に来るとき、歩道橋をわたります。」



「歩道橋は、道路を安全にわたることができるね。」



歩道橋

ほかにも、安全を守るためのものをさがすことにしました。



信号



110番の家の看板



カーブミラー



ふみ切り



横たん歩道



道路ひょうしき



見つけたものを、写真にとったり、スケッチしたりして、しょうかいしましょう。

事故や事件<sup>じけん</sup>をふせぐために、どんな活動をしているのでしょうか。

## 地いきでの<sup>と</sup>取り組み



「わたしたちが下校するとき、いつも見守ってくれる地いきの方々がいます。」



「安全パトロールのステッカーをはった車を見たことがあります。」

他にも、安全を守るための活動<sup>かつどう</sup>をさがすことにしました。



スクールサポーター



スクールガードリーダー



朝の安全しどうをする地いきの方



地いきボランティア



パトロール中の車

## 4 市のうつりかわり

友部駅のまわりは  
どのようにかわって  
きたのでしょうか。

### 1 市の様子と人々のくらしの うつりかわり

#### かわってきた友部駅

ゆうまさんたちは、先生が見せてくれた友部駅のまわりの写真を比べながら、気づいたことを話し合いました。



友部駅のうつりかわり 50年前



テレビを見る



駅前のびようしつ



「今と昔では駅の通りがちがうね。地面には石がころがっているよ。」



「50年ほど前は、車も走っていないし、高いたて物が無いね。」



「50年前にテレビがあるね。今のテレビとずいぶん形がちがうね。」

テレビがあった家庭にみんなで集まって、人気のあった番組を見たそうです。内原から自転車にのってテレビを見に来た人もいたそうよ。







友部駅のうつりかわり 今



「<sup>じどうしゃ</sup>自動車が走りやすいようにほそうされているね。」



「ガソリンスタンドや<sup>にようぎようきようどう</sup>農業協同組合のたて物があってにぎやかだね。」



「駅前<sup>の</sup>通りはいつもたくさんの自動車が走っているよ。」



「駅よりはなれたところは、どうだったのかな。」

## 駅の近くに<sup>す</sup>住む方の話

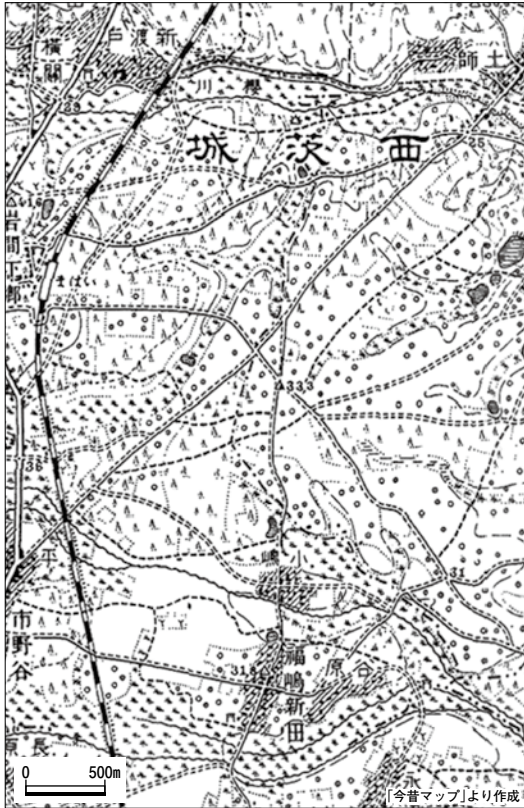
友部駅前<sup>の</sup>通りはほそうされておらず、たくさんのお店がならんでいました。八百屋、タクシーのじむ所、食堂、床屋、化しよ<sup>ひん</sup>う品屋、酒屋、下駄屋、瀬戸物屋など<sup>が</sup>あって、とてもにぎやかでした。毎年七夕祭りがにぎやかに<sup>行</sup>われ、みんなが楽しみにしていました。自分たちで手づくりのかざりをつくりました。また、銀行<sup>の</sup>ところに昔は友部小学校<sup>が</sup>あって、小学生がたくさんいてにぎやかでした。広いグラウンド<sup>が</sup>あって、夏には盆踊り<sup>を</sup>してみんなが集まりました。今の友部小学校<sup>の</sup>ところには二つ池<sup>が</sup>あって、つりにでかけるなどみんなの遊び場<sup>で</sup>した。

わたしたちの市は、  
いつごろ、どのよう  
にかわってきたので  
しょうか。

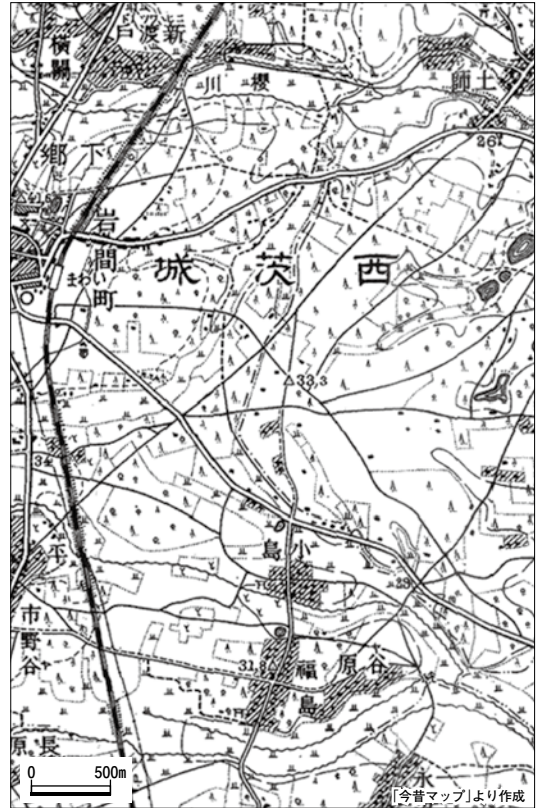
## かわってきたわたしたちの市

つぎに、ゆうまさんたちは、さいき  
んの岩間地区の地図と、昔の地図をも  
とに、気づいたことを話し合いました。

130年から100年ほど前



90年から70年ほど前



- u 水田
- かじゆ園
- ㄥ くわ畑 ばたけ
- その他樹木畑 じゅもく
- A 林
- Q 林
- /// たて物 もの
- 線路・駅



「地図をくらべると、130年から  
100年ほどの前は林だったところ  
が多くあるね。」



「鉄道の場所はかわっていないね。  
でも、道路は新しくできたところが  
たくさんありそうね。」

ゆうまさんたちは、市がどのようにかわってきたのか、調べてみることにしました。



「道はばが広くなって、自動車じどうしゃが通りやすくなったのではないかな。」

50年から40年ほど前



30年から10年ほど前



今昔マップ on the web (<http://ktgis.net/kjmapw/>) より作成

- 水田・田
- かじゆ園
- ㄥ くわ畑ばたけ
- その他樹木畑じゅもく
- △ 林
- たて物もの
- 線路・駅



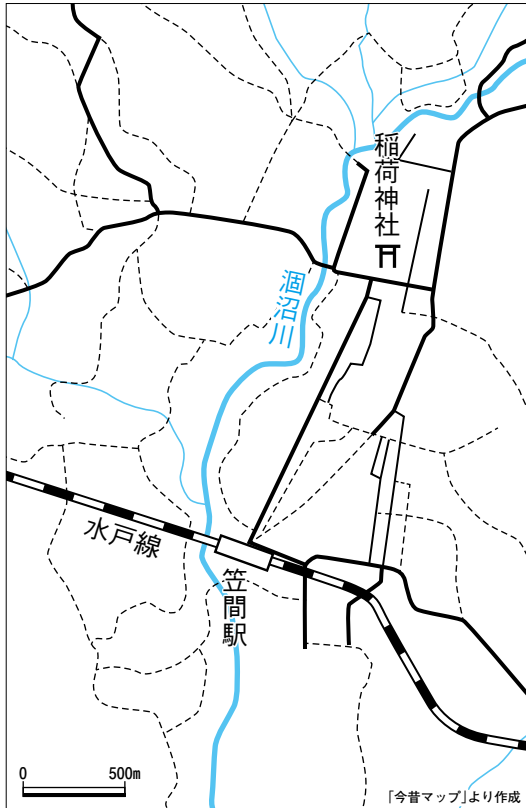
昔とさいきんの地図を見ると、ちがいがわかりますね。市のうつりかわりについて、みなさんはどんなことを調べたいですか。インターネット等でくわしく調べてみましょう。

笠間市の交通は、  
どのようにかわって  
きたのでしょうか。

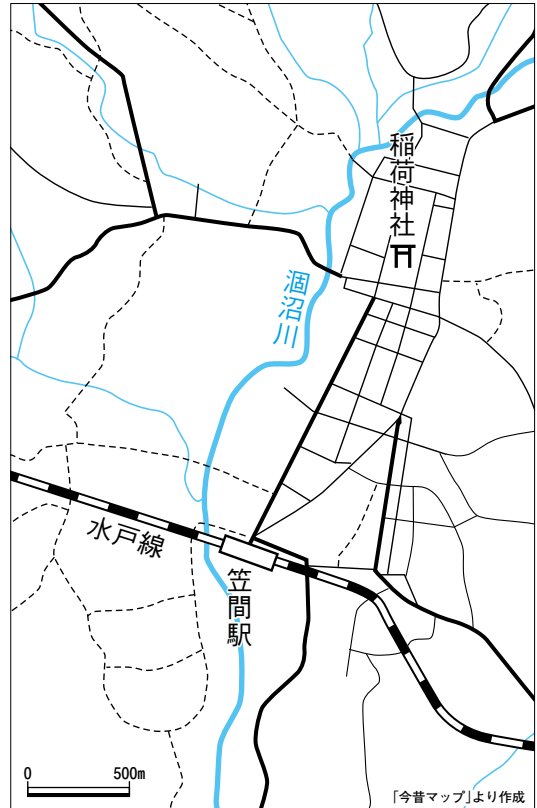
## 道路や鉄道のうつりかわり

さやかさんたちは、笠間地区の道路  
や鉄道が、どのように広がっていった  
のか話し合うことにしました。

130年から100年ほど前



90年から70年ほど前



「今から130年ほど前の1889  
年には、常磐線と水戸線にじょう  
きかん車が走り始めました。」



「今から50年ほど前の1961  
(昭和36)年に常磐線、1967  
(昭和42)年に水戸線に電車が走  
るようになったんだそうだよ。」



大正末期時代の常磐線



「大きな道路は、1972(昭和47)年に国道50号が開  
通したよ。」

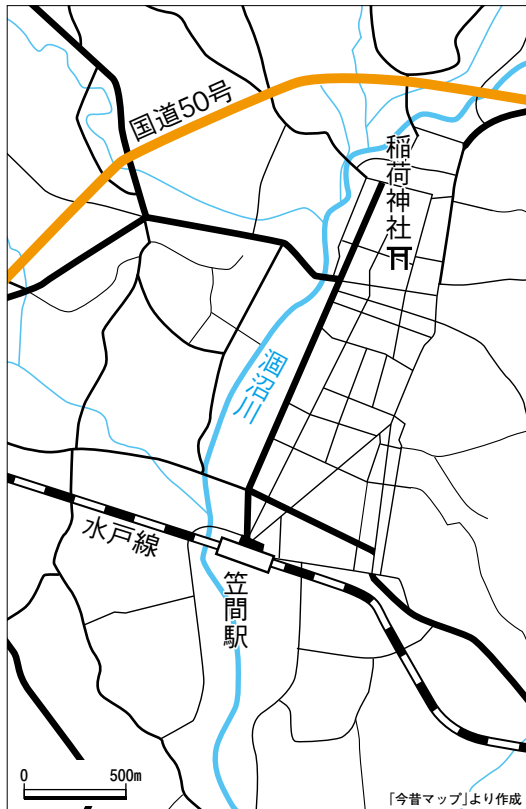


ショッピングセンターが  
できる前



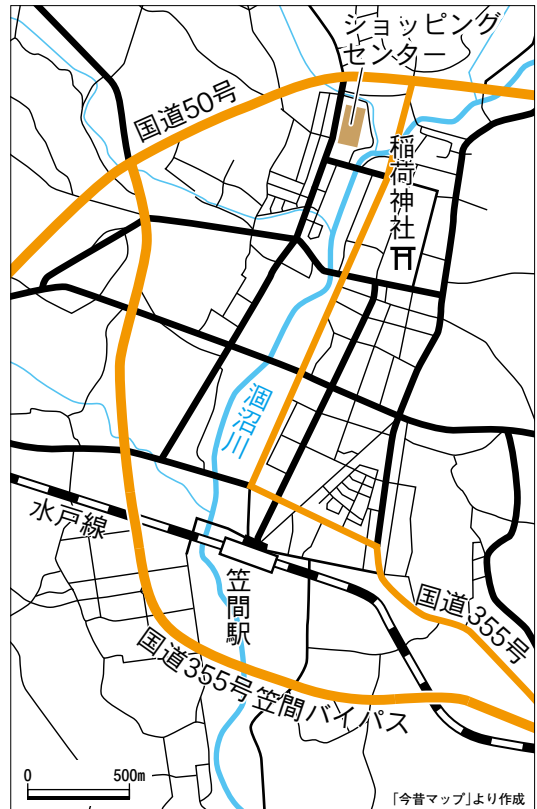
ショッピングセンターが  
できた後

50年から40年ほど前



「今昔マップ」より作成

今



「今昔マップ」より作成

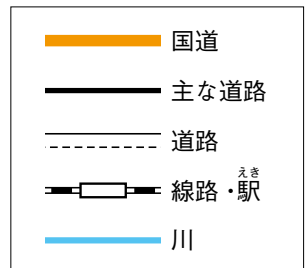
今昔マップ on the web (<http://ktgis.net/kjmapw/>) より作成



「いろいろなところに道路ができて、  
道はばも広がったね。」



「車が通りやすくなったと思うよ。  
家や工場もふえたのではないかな。」



笠間市の土地の  
使われ方は、どのよう  
にかわってきたので  
しょうか。

## 土地の使われ方のうつりかわり

笠間市の土地の使われ方について、友部地区の地図をくらべながら、気づいたことを話し合いました。

130年から100年ほど前



90年から70年ほど前



- 水田
- かじゆ園
- ㄥ くわ畑ばたけ
- その他樹木畑じゅもく
- ▲ 林
- ▨ たて物もの
- 線路・駅



「130年から100年ほど前の友部地区は、林のところが多く見られるね。」



「90年から70年ほど前になると、じょじょに道路がつながり、道はばも広くなってきているね。」



「大きな道路や高速道路、線路があって、そのまわりに田が広がっているね。」



## 都市計画課の方のお話

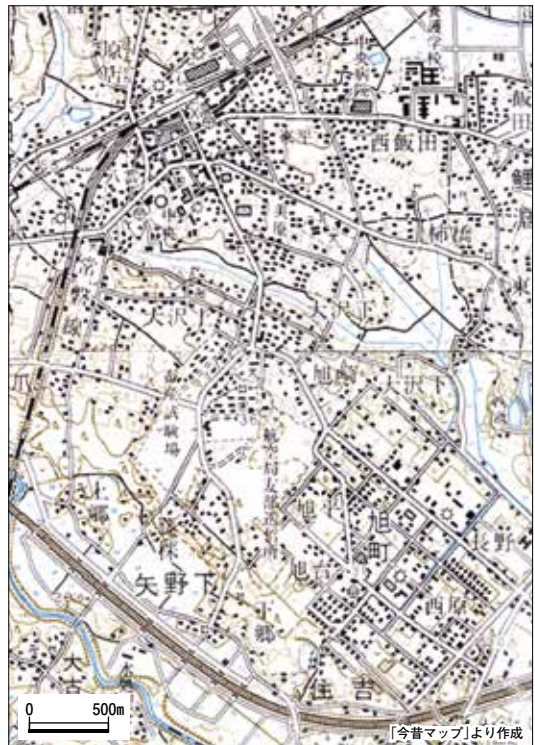
昔と今の<sup>ずめん</sup>図面<sup>くら</sup>を比べてみると、友部地区の<sup>なか</sup>まち中にある広い道路ぞいに、新しく大きな<sup>じゆうたく</sup>お店や住宅ができています。

また、友部地区と岩間地区の高速道路の近くでは、新たな工場<sup>た</sup>が建てられました。

50年から40年ほど前



30年から10年ほど前



今昔マップ on the web (<http://ktgis.net/kjmapw/>) より作成

- 水田・田
- かじゆ園
- ㄥ くわ畑 ばたけ
- その他樹木畑 じゆもく
- △ 林
- たて物 もの
- 線路・駅



「新しくたて<sup>もの</sup>物がふえてきているね。」



「高速道路の近くでは、工場がふえてきているようだね。」

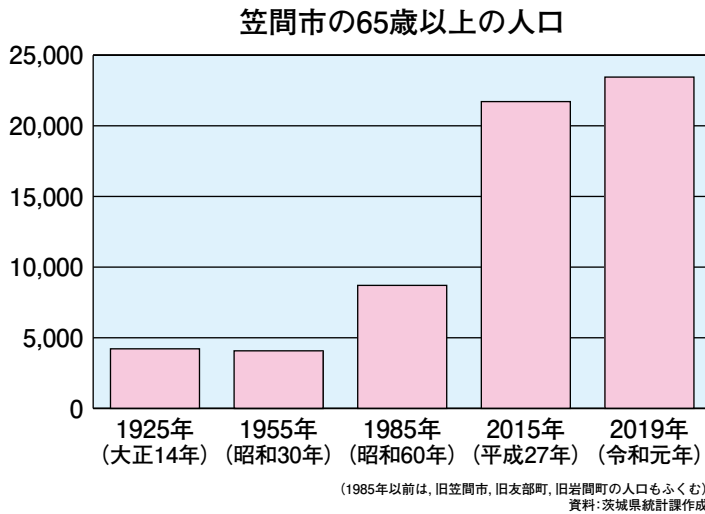
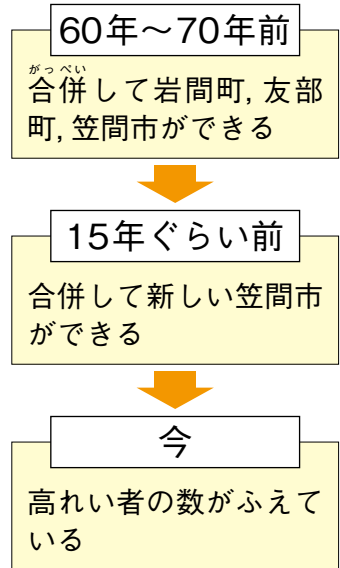
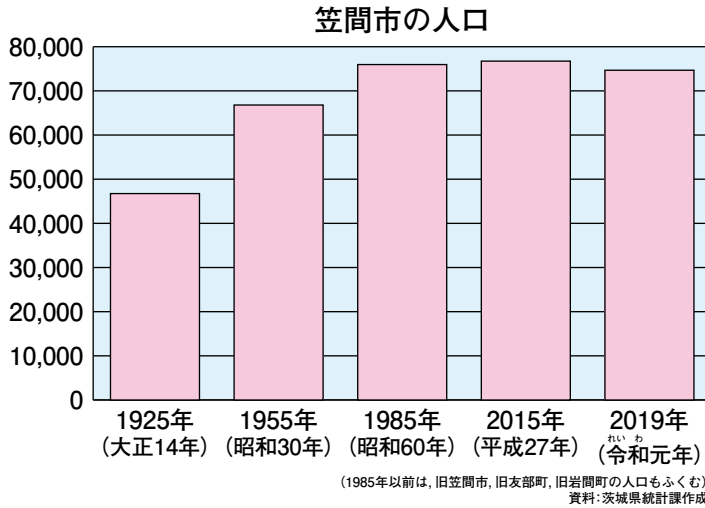
工場と高速道路には、何かつながりがあるのかな。



市の人の数は、  
どのようにかわって  
きたでしょうか。

## 人口のうつりかわり

さやかさんたちは、笠間市の人口の  
グラフを見て、気づいたことを話し合  
いました。



### 笠間市に住む外国人の人口

	せたい 世帯数
平成18年	610
平成21年	538
平成24年	470
平成27年	514
平成30年	502

資料：市民課「住民基本台帳人口」

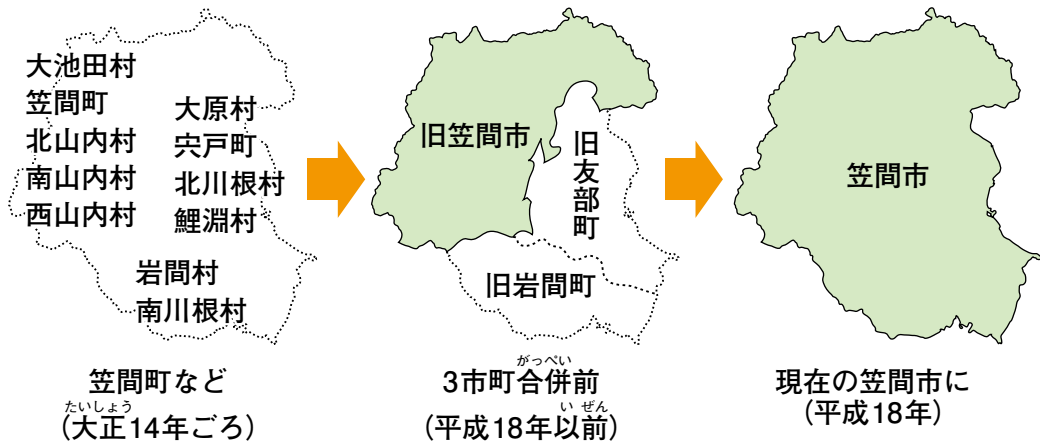


「今と100年ぐらい前は人口がかなりちがうね。」



「昭和の時代は人口がとてもふえたんだね。」





「昔は、小さな町や村がたくさんあったそうよ。」



「笠間市は、旧笠間市、旧友部町、旧岩間町に分かれていたんだよ。」



「平成18年に一つになって、市の人口がふえて土地も大きく広がったんだね。」



「今では、お年よりの数もふえているんだね。」



笠間市役所



### 市役所の方のお話

1925 (大正14) 年の笠間市の人口は46,743人でした。当時は、笠間町、大池田村、北山内村、南山内村、西山内村、宍戸町、大原村、北川根村、鯉淵村、岩間村、南川根村の各町村に分かれていました。2019 (平成31) 年には74,673人となりました。1925 (大正14) 年と2019 (平成31) 年を比較すると、約1.6倍と人口がふえていることが分かりますが、近年は人口減少と少子高齢化が問題となっています。

市の公共しせつは、  
いつごろできたので  
しょうか。

## 公共しせつのうつりかわり

ゆうまさんたちは、わたしたちの学校  
がいつごろできたのか調べてみました。



「笠間小学校は、今から140年以上も前の1873年(明治6年)にあったんだね。」



「学校だけでなく、ほかの公共しせつはどんなものがあるだろう。」



「市役所や図書館、さいきんでは地いき交流センターもつくられたよね。」



笠間尋常小学校



市民センターいわま



地いき交流センターともべ「トモア」



友部図書館の様子



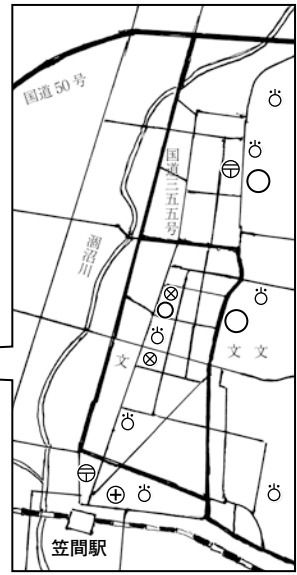
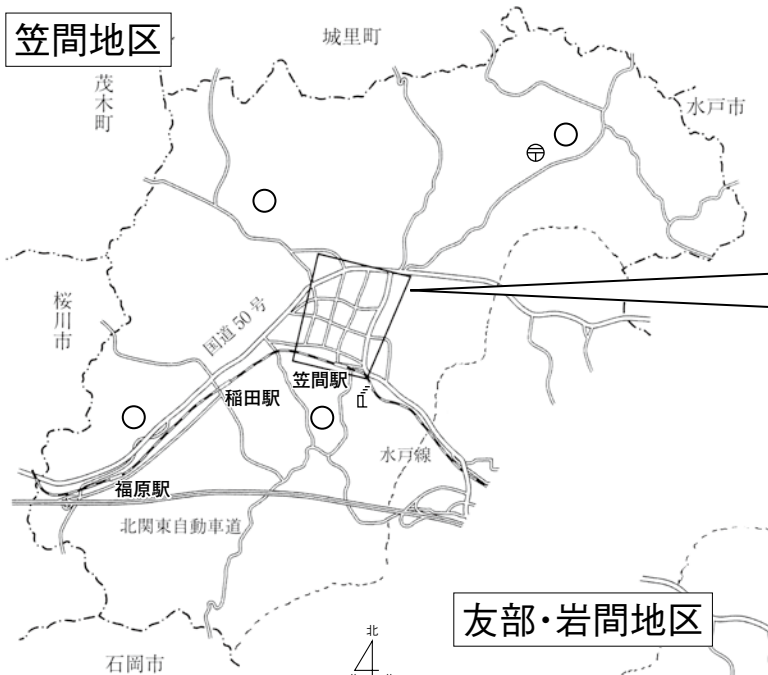
「昔とくらべると、今はたくさんの公共しせつがあるんだね。」



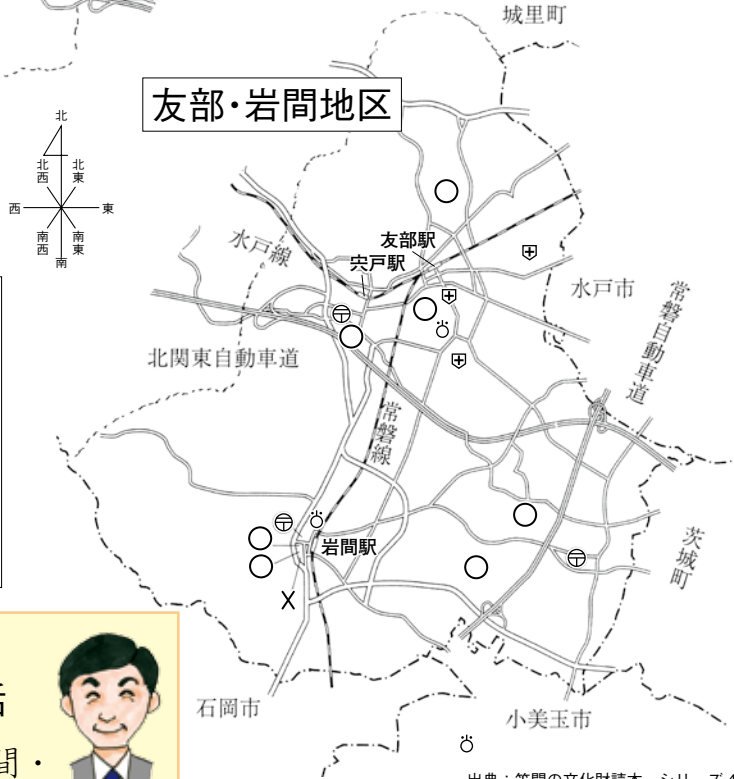
「さいきんでは、小学校と中学校が一つの学校になったり、4つの小学校が一つの小学校になったりしたね。」

# 古い公共施設の略図

## 笠間地区



## 友部・岩間地区



記号	
○	町役場
⊗	警察署
○	官公署
X	交番
⊕	病院
⊕	保健所
⊕	郵便局
⊕	清掃工場
—	駅
≡	高速道路

## 図書館の職員の方のお話



笠間市には、笠間・友部・岩間の各地区に図書館があります。

サービスカードは、だれでも、どこに住んでいてもつくることができます。本は何冊でも借りることができるので、たくさんの方が利用しています。みんなが利用できる、笠間市自慢の図書館です。

出典：笠間の文化財読本 シリーズ 46

くらしの中の道具は、どのようにかわってきたのでしょうか。

## 道具とくらしのうつりかわり

ひろしさんは、近所のおじいさんとおばあさんが子どもだったころのくらしの様子を聞いてきました。



### おじいさんの話

昔は、ランプを使って、部屋の明かりにしたんだよ。夜に出かけるときも使ったよ。雨や風が強いときは、火が消えないように注意したもんだ。

たもんだ。

また、毎日そうじをしないと暗くなってしまうから、子どもがすすそうじをしたんだよ。今は電気を使うので、ずいぶん楽になったね。



ランプ



### おばあさんの話

わたしが子どものころの家は、かやぶきの屋根だったんだよ。いろりでは、鉄びんでお湯をわかしたり、なべでにものやるものをつくったりしたんだよ。

昔は、今のように、エアコンがなかったからね。冬は、いろりで木をもやして、あったまったものだよ。


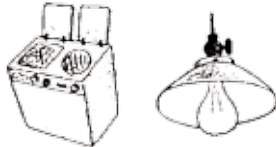
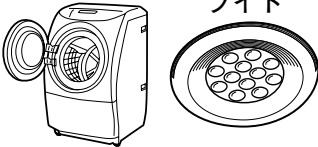


水がめ



みのとすげがさ

# 道具年表 ねんぴょう

	100年前 (大正) <small>たいしょう</small>	50年前 (昭和) <small>しょうわ</small>	今 (令和) <small>れいわ</small>
道具	せんたく板 ランプ 	せんたくき 電球 <small>きゅう</small> 	せんたくき エルイーディー LED ライト 
使い方 ・とくちょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板にこすりつけてよごれを落とす。</li> <li>・油<small>あぶら</small>を入れて火をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気で動く。</li> <li>・電気で光る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気で動く。せんたくからかんそうまでできる。</li> <li>・電気で光る。けいこう灯<small>とう</small>よりも軽く、明るく長持ち<small>ながも</small>する。</li> </ul>



こたつとあんか



車井戸のかっ車 いど



かます (わらであんだむしろをふくろにしたもの) とわらじ



とうみ



足踏みだっこく機 き



どう筒

資料館に見学に行って、昔の暮らしについて調べよう。

## 笠間市<sup>れきし</sup>歴史民俗資料館<sup>みんぞくしりょうかん</sup>

ひろしさんたちは、昔<sup>むかし</sup>の暮らしを調べるために、平町<sup>たいらまち</sup>(宍戸<sup>ししど</sup>小学校前)にある歴史民俗資料館に行きました。

### ※古ふん

大昔<sup>みぶん</sup>の身分の高い人のはかで、土を高くもり上げておかのよう<sup>よ</sup>に大きくつくってあるもの。



「このたて物<sup>もの</sup>は、元宍戸町<sup>やくば</sup>役場で国の登録文化財<sup>とうろくぶんかざい</sup>にもなっています。」



「歴史を感じさせるたて物の中には、笠間市の<sup>こ</sup>古ふんや宍戸城<sup>じょう</sup>などのコーナーがありました。」



「ここでは、市の特産品<sup>とくさん</sup>や交通のうつり変わり<sup>か</sup>などを調べることもできます。」



「昔の道具<sup>どうぐ</sup>がてんじしてあるコーナーに行ってみました。」



歴史民俗資料館の様子

わたしたちの市の  
これからについて  
考えましょう。

## 市のはってんのために

ひろしさんたちは、笠間市のこれからの  
ためにどのような取り組みが行われている  
か、市の広報紙を見て、話し合いました。



「笠間について、いろいろな広報紙がでているんだね。」



「インターネットで笠間市のホームページを見たことがあるよ。」



笠間市の広報紙



笠間市の広報紙 お知らせ版



これからの笠間市について考えたことを、  
リーフレットやポスターなどにまとめて、伝え  
合ってみましょう。

## 5 住みよいくらしをつくる

くらしの中で、  
水はどのように使  
われているので  
しょうか。

### 1 水はどこから

#### わたしたちの生活と水

ありさんのクラスでは、水がどの  
ように使われているか調べました。



「家では、あらいものやおふろなどに使っているんだね。」



「車をあらうときもたくさんの水を使っているよ。」



※2  
きゅう すいりょう

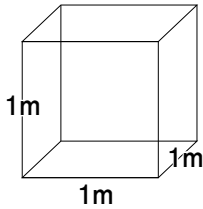
## 給水量の変化

※1

りっぽう

### 1立方メートル(1 $\text{m}^3$ )

たて、横、高さがそれぞれ1メートルの容器に入れる量を1立方メートルといいます。1リットルの牛乳パック1000本分。



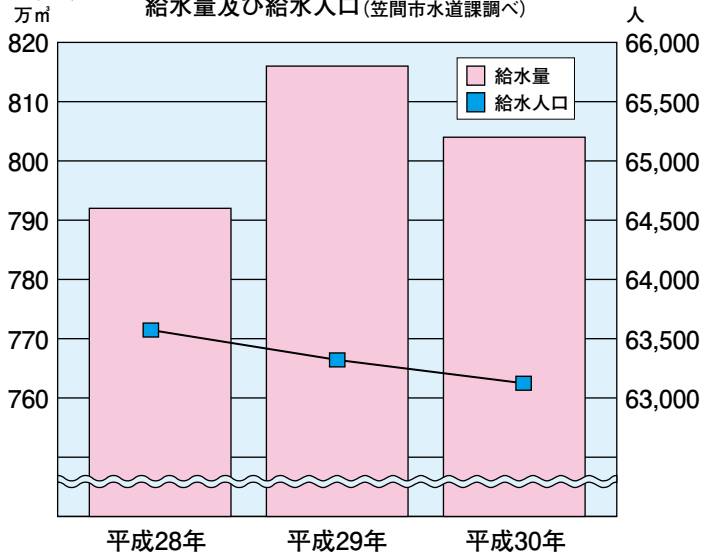
※2

### 給水とは？

水を家庭や学校までとどけることを給水といいます。

(※1)

給水量及び給水人口(笠間市水道課調べ)



水道課で聞いた話では、市全体の水の使用量を見ると、一人一日あたりおよそ300リットルも使っているそうです。



「学校の水はどこからくるのかな。」



「きれいな水をどのようにしてつくっているのかな。」



水道課



水道メーター

学校の水はいったいどこから来ているのでしょうか。

## わたしたちが使う水はどこから

ありさんたちは、じゃ口から屋上の給水タンク、ポンプ室、じゅ水そう、水道メーター、学校へ入ってきている水道管へとたどっていきました。



水道のじゃ口



屋上の給水タンク



ポンプ室の中



水道メーター

じょう水場では  
どのようにして水を  
きれいにしているの  
でしょうか。

## きれいな水をつくる

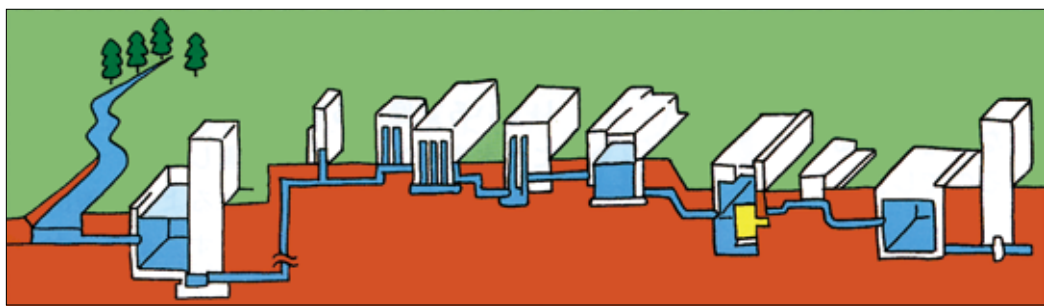
### ひぬま 涸沼川じょう水場の方の話

このしせつは平成3年にたてられ、けん現  
ざい在は笠間市の大部分に水を送っています。

わたしたちは、きれいな水をつくるた  
めに、休みの日も夜も交代で仕事をし、水の様子  
や機械の動きをいつも注意深く見守っています。

また、このしせつでは1日に最大2万4千立方メートルの水をつくること  
ができます。このじょう水場の水はおいしいと言われたときが、いちばんうれ  
しいです。

みなさんが使った水は川にもどって、まただれかが使います。よごさないよ  
うに使いたいですね。



・**取水口**  
しゆすい  
水を取り入れる。

・**ちんさ池**  
すなをしずめる。

・**ちんでん池**  
薬を入れてよご  
れをしずめる。

・**ろか池**  
水をこしてきれ  
いにする。

・**活性炭せつしよく池**  
かっせいたん  
活性炭により水  
にふくまれてい  
るにおいを取る。

・**塩素こんわ池**  
えんそ  
塩素という薬を  
入れて消毒する。

・**送水ポンプ**  
そうすい  
きれいな水になつた  
水をおくる。

### じょう水場のしくみ



涸沼川



取水口



ちんさ池



ちんでん池



ろか池



活性炭せつしよく池



塩素こんわ池



送水ポンプ



水を手に入れる  
ために、どのような  
力をしているの  
でしょうか。



飯田ダム

## ダムの働き



### 水道課の方の話

笠間市では、今も自家用の井戸  
水で生活している家庭があります。  
そこで、どの家にも水道を引くことを  
計画したり、いつでも十分な水を取り入れ  
られたりするように※<sup>1</sup> 飯田ダムで水をた  
めたり、流したりしています。また、古く  
なったしせつを直したり、水道管の交か  
んをしたりしています。みなさんも水を大  
切に使ってください。

わたしたちは、  
これから水をどのよ  
うに利用していけば  
よいのでしょうか。

## 大切な水のために

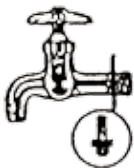
水を大切に使う取り組みについて、わ  
たしたちにできること話し合うことに  
しました。

### ※1 ダム

川の水の量を調節し  
たり、水力発電に利用  
されたりしています。

### ※2 節水こま

水が出すぎないよう  
に、じゃ口の中のこまの  
大きさや形を工夫して  
います。



節水こま



「※<sup>2</sup> 節水こまをつけて、少しでも  
水の量をへらしているのよ。」



「コップに水をくんで歯をみがく  
と、流しながらみがくより5リット  
ルも節水できるよ。」



「使い終わった水は、主に飲み水に  
なるんだね。カレーのお皿は、よご  
れをふきとってからあらおうかな。」



「台所やお風呂で使う水を、よごさ  
ないで使う方法を考えたいね。」

わたしたちの家からは、どんなごみが出ているのでしょうか。

## 2 ごみのしりょうと利用

### たくさん出るごみ

さやかさんに、自分の家のごみについて調べたことを発表してもらいました。



「わたしの家では、毎日いろいろなごみが出ているということがわかりました。」



ごみしゅうせきじよ



かねんごみ



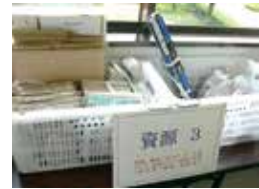
ふねんごみ



しげん物 1



しげん物 2



しげん物 3

### 1 週間のごみ調べ

曜日		〈さやかさんの家〉							〈自分の家〉							
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
しげん物	紙類	○	○	○	○	○	○	○								
	びん	○						○								
	かん		○	○				○								
	ペットボトル・トレイ	○				○	○		○							
かねんごみ		○	○	○	○	○	○	○								
ふねんごみ					○			○								
有害ごみ		○														
そ大ごみ		○														



自分の家の1週間のごみも調べて、○をつけてみよう。

くらしの中から出されるたくさんのごみは、どのようにしよりされたり、利用されたりするのでしょうか。



「ごみにはいろいろな種類があるんだね。」



「わたしの家では、決められた日にごみを出しているわ。」



「わたしたちは毎日たくさんのごみを出しているね。笠間市全体のごみの量りょうはどのぐらいなのかしら。」



「人が生活するとたくさんのごみが出るんですね。」

ごみの排出量の推移はいしゅつりょう すい(笠間市調べ)



ごみの出し方と集め方について調べてみましょう。

どうして、ごみの分け方出し方が決められているのでしょうか。

# ごみを分別する

ごみの分け方や出し方の表を見て、気づいたことを発表しましょう。

令和元年10月30日現在 保存版

## ごみの分け方・出し方

### ●収集日の朝8時までに出しましょう(前日には出さないでください)●

区分	収集日	ごみの種類(具体的)	資源物	出し方(注意点)
可燃ごみ	毎週 曜日	生ごみ、貝類、プラスチック類、紙おむつ、成層紙、ゴム製品、靴くず、在宅廃棄物類(脱脂なものを除く)写ど	有料	●指定袋に入れて出してください。指定袋以外で出した場合は有料となります。 ●指定袋に名前を必ず記入してください。 ●指定袋に入らぬものは最大ごみとして扱います。 (多量に出る場合は、環境センターへ自己搬入してください。その際、指定袋は使わずとも構いません。) ●生ごみは、十分に水切りをしてください。 ●樹木の剪断は、直径15cm 長さ50cm以内で切った状態で出してください。 ●可燃ごみコンテナ(黄色)に入れ、可燃ごみ専用袋を袋の口のように折って袋ごとに入れてください。 ●資源物にはコンテナと同一の名称を必ず記入してください。 (資源物1以外の資源物は、コンテナからごはれは1種類まで1回出し可能です。)
	毎週 水曜日	陶器類、小型家電製品、電球、コップ、筆、鏡、オイルや塗料の缶類、10g以下の缶、カミソリなど(資源物に入らないもの) 一部的小型家電製品は、市役所環境課または支所ごみ処理の窓口まで届けてください。	有料(有料)	●可燃ごみコンテナ(黄色)に入れ、可燃ごみ専用袋を袋の口のように折って袋ごとに入れてください。 ●資源物にはコンテナと同一の名称を必ず記入してください。 (資源物1以外の資源物は、コンテナからごはれは1種類まで1回出し可能です。)
粗大ごみ	戸別収集 申請制による	家庭用化粧品、自転車、スポーツ類、ガスレンジ、トタン、道具、寝具、畳、カーペットなど	有料(有料)	●自宅の入り口を確保する場合は、市役所環境課または支所環境課で搬送申込み、搬入ごみ専用袋を記入してください。(環境センターへごみ搬入する場合は、処理券の貼付は不要です。) ●1回につき2枚、搬送券を貼ります(両面は折り付けてください)。 ●指定する日に搬送券(両面)の貼付は1回先着順に出してください。 ●1回につき2枚の搬送券は1枚限りです。 ●家電製品のコードはあらかじめ切ったものは20cm以内に切り断し干物のみとして出してください。 ●石造りの石は指定袋に入れてください。 ●家電製品の搬入の際は、搬入先を必ず書いてもらうようにしてください。 ●家電製品の内、家電リサイクル法の規定するテレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・洗濯機・乾燥機は、最大4台の搬入が可能です。注意してください。エアコンはメーカーリサイクルにご協力ください。
	資源物1	缶 びん	無料	●資源物コンテナ(黄色)で缶・びんを一緒に出してください。 ●中身はかつして完全に空にしてください。 (汚れている場合はお断りします。) ●びんの場合は、必ず空にしてください。 (ふたが蓋取のものは可燃ごみに、プラスチック製のものは資源物として出してください。) ●資源物コンテナ以外で出した場合は有料となります。 ●お入りの缶・びんは「可燃ごみ」に出してください。 ●コンテナは1回出し可能です。市役所環境課または支所環境課で搬入してください。
資源物2	ペットボトル	ジュース、清涼飲料、ミネラルウォーター、醤油、酒類など ♻️のマークがあるもの	無料	●資源物コンテナ(黄色)に入れて出してください。 ●フタをとり、中身を完全に空にして出してください。 (汚れている場合はお断りします。) ●ふたは必ず空にしてください。(ふたが蓋取のものは可燃ごみに、プラスチック製のものは資源物として出してください。) ●PET製は資源物として出してください。 ●資源物コンテナ以外で出した場合は有料となります。
	資源物3	洗剤 スプレー 缶類	無料	●資源物コンテナ(黄色)に入れ、資源物と同じ収集日に出してください。 ●洗剤は、購入時のケースなどに入れたままに出してください。 ●洗剤・スプレー類は、環境センターに「洗剤類」(洗剤類)とそれぞれの袋に入れて、中身がわかるようにしてください。 ●この場合(ビオカメラ用洗剤)はリサイクル協力店または販売店まで持参してもらってください。
資源物3と同じ 収集日	資源物3と同じ 収集日	資源物3と同じ 収集日	無料	●資源物コンテナ(黄色)に入れ、資源物と同じ収集日に出してください。 ●洗剤は、購入時のケースなどに入れたままに出してください。 ●洗剤・スプレー類は、環境センターに「洗剤類」(洗剤類)とそれぞれの袋に入れて、中身がわかるようにしてください。 ●この場合(ビオカメラ用洗剤)はリサイクル協力店または販売店まで持参してもらってください。

資源物分別回収(登録)団体の活動として資源物を回収(2回以上/年)すると、資源物の量に応じ1kgにつき1円の奨励金が団体に交付されます。市内の資源物分別回収団体の活動に参加し、リサイクル運動の輪を広げましょう。

**収集しないごみ**

一時多量ごみ  
事業系ごみ

**収集できないごみ**

ガンガン・打撃等が内蔵のもの、高圧釜、産業廃棄物(注射器・針筒)、建築用材、タイヤ、ホイール、バッテリー等の自動車部品、パイプ、傷品類、土砂、瓦、建築資材、多量の電池・充電器、多量のビニール、多量のプラスチック、ガスボンベ、薬品、塗料、パソコン、家電リサイクル法の規定するもの(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・洗濯機・乾燥機)

引渡ししなくても出る一時多量ごみ → 事前に環境センターに連絡し、自己搬入してください。自己搬入する場合は、きちんと分別してください。

事業活動に伴って発生した一量廃棄物は、ごみ処理に出せません。市の許可を受けた業者に依頼するか、環境センターへ自己搬入してください。

ガンガン・打撃等が内蔵のもの、高圧釜、産業廃棄物(注射器・針筒)、建築用材、タイヤ、ホイール、バッテリー等の自動車部品、パイプ、傷品類、土砂、瓦、建築資材、多量の電池・充電器、多量のビニール、多量のプラスチック、ガスボンベ、薬品、塗料、パソコン、家電リサイクル法の規定するもの(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・洗濯機・乾燥機) → 古物商や販売店、又は専門の業者と連携してもらってください。

**【ごみを資源物として分ければ無料です。分別にご協力下さい。】**

**ごみの減量化と再資源化にご協力下さい。リサイクル商品を利用しましょう。**

**〈ごみに対する問い合わせ先〉**

〔芝罘地区〕芝罘市役所環境課保全課 ☎0296-77-1101

〔青葉地区〕芝罘市役所若狭支所環境課 ☎0299-37-6611

〔芝罘・水戸環境組合(環境センター)〕 ☎0296-77-2416

**環境センター受付時間**

〔午前9時～12時〕

〔午後1時～5時〕

※受付は10月31日まで

※業務用の受付は、持ち帰り袋で商品を持ち、直接の人に商品をお分けしないようにしてください。

※環境センターは、全てのごみの処理はできません。決められたおりに出しましょう。

**案内図**

資源物もご協力下さい。

## ごみの分け方・出し方



## ごみしゅう集日てい表 (岩間地区)

コース	収 集 地 区 名	可燃ごみ	不燃ごみ	資源物 1	資源物 2	資源物 3	粗大ごみ
<b>A</b>	旭東・旭西・上町・中町・栄町・参り坂・北根中・愛宕団地	毎週 月・木	第 2 水	第 1・3 金	第 2・4 金	第 1・3 水	窓口予約申込みによる 自宅回収  収集日については申し込み時にご確認ください。  申込み先所 地域 課
<b>B</b>	日吉町・春日町・吉岡・南春日町・東町・北根東2・春日町一区・第1東宝ランド・第2東宝ランド・雇用促進住宅・白旗ニュータウン・ヘルシータウン・寿・仲田住宅・春日町大越住宅	毎週 月・木	第 3 水	第 2・4 金	第 1・3 金	第 2・4 火	
<b>C</b>	横瀬・滝尻・古山・富野・堂山・茅生・東福・花園・長沢・大久保・日向内・仲通・大古沢・駒場・日向・大朝・北根西・五堂・平・山根・市野谷・中村・北根東1・ミサワホーム・大塚	毎週 火・金	第 4 水	第 1・3 月	第 2・4 月	第 1・3 水	
<b>D</b>	新渡戸・土師・上押辺・下押辺・上安原・下安原・吉沼・安原東部・畑倉・東大牧場・栢山西部・栢山東部・福島・小島・谷原・白旗ヒルズ	毎週 火・金	第 1 水	第 2・4 月	第 1・3 月	第 2・4 水	



かねんごみ



ふねんごみ



しげんごみ



ごみしゅう集車

## ごみしゅう集の方の話



なぜごみを分別するのかというと、しよりの仕方がちがうからです。ごみを分けて出してくれないと、機械がこしょうしたり、きけんなことが起こったりしてしまいます。決められた日に出すのは、ごみがいつまでもそのままになっていることがないようにするためです。

必ずきまりを守ってください。

## もえるごみのゆくえ

### ※1 かんきょうセンター

旧友部町・旧岩間町・旧内原町の3つの町の協力でつくられました。現在は、笠間市(友部、岩間地区)で使用しています。

### ※2 エコフロンティアかさま

県の産業はいき物しゅりしせつとしてつくられました。笠間地区のごみも処理しています。



「集められたごみは、どこに運ばれるのだろう。」



「運ばれたごみは、どうなるのかな。」

さやかさんたちは、ごみが運ばれていくしせつの見学計画を立てて、見学することにしました。



※1 かんきょうセンター (長兎路仁古田入会地)



※2 エコフロンティアかさま (福田)



「ごみをどのようにしゅりしているのかな。」



「どれくらいのごみをしゅりするのかな。」



「しゅりしたごみはどうなるのだろう。」



「何人の人が働いているのかな。」

働いている人はどんな工夫をしているのか知りたいね。



もえるごみは、  
どのようにしより  
されているので  
しょうか。

さやかさんたちは、クレーンでゴミ  
を入れる様子や機械をせいぎよする様  
子を見学しました。



温水プール  
(ゆかいふれあいセンター)

ごみをもやしてでる  
熱ねつを利用していています。

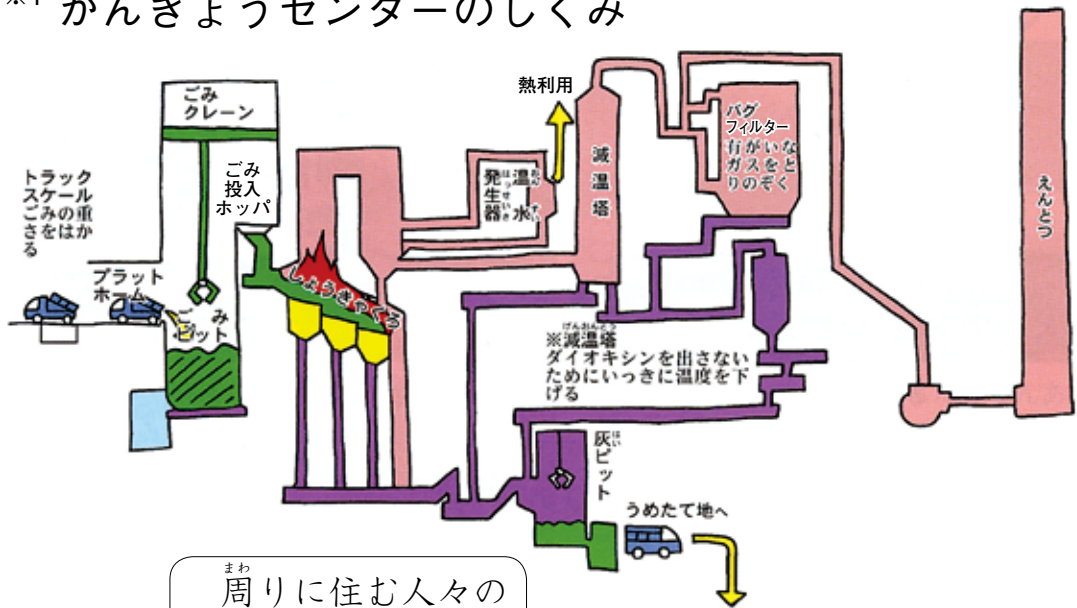


ごみピット、ごみクレーン  
ごみピットにためられた  
ごみを、ごみクレーンで  
つかみ、ごみ投入ホッパへ  
投入します。



中央せいぎよ室  
機械の運転をせい  
ぎよしています。

### ※1 かんきょうセンターのしくみ



まわりに住む人々の  
ことをいろいろ考  
えてつくられている  
ね。えんとつから出  
るけむりは水じょう  
気だそうよ。



すわクリーンパーク (うめたて地)

集められたしげん物のゆくえを調べてみましょう。

## ごみが生まれ変わる<sup>か</sup>



集められたあきかん・びん



あきかん・びんのせんべつ選別



あきかんプレス機<sup>き</sup>



プレスされたあきかん



リサイクルされたアルミかん



### かんきょうセンターで働く方の話

ここでは、しげん物を集め、リサイクルセンターへ送る仕事もしています。

びんを色ごとに分けるのは手作業なので、手間<sup>てま</sup>がかかります。また、しげん物がきちんと分別<sup>ぶんべつ</sup>されていない時には、種類<sup>しゅるい</sup>ごとに分けなければなりません。たいへんな仕事ですがかんきょうを守っていくために、大事な仕事をしていると思っています。



かんきょうセンターに集められた  
新聞紙とダンボール

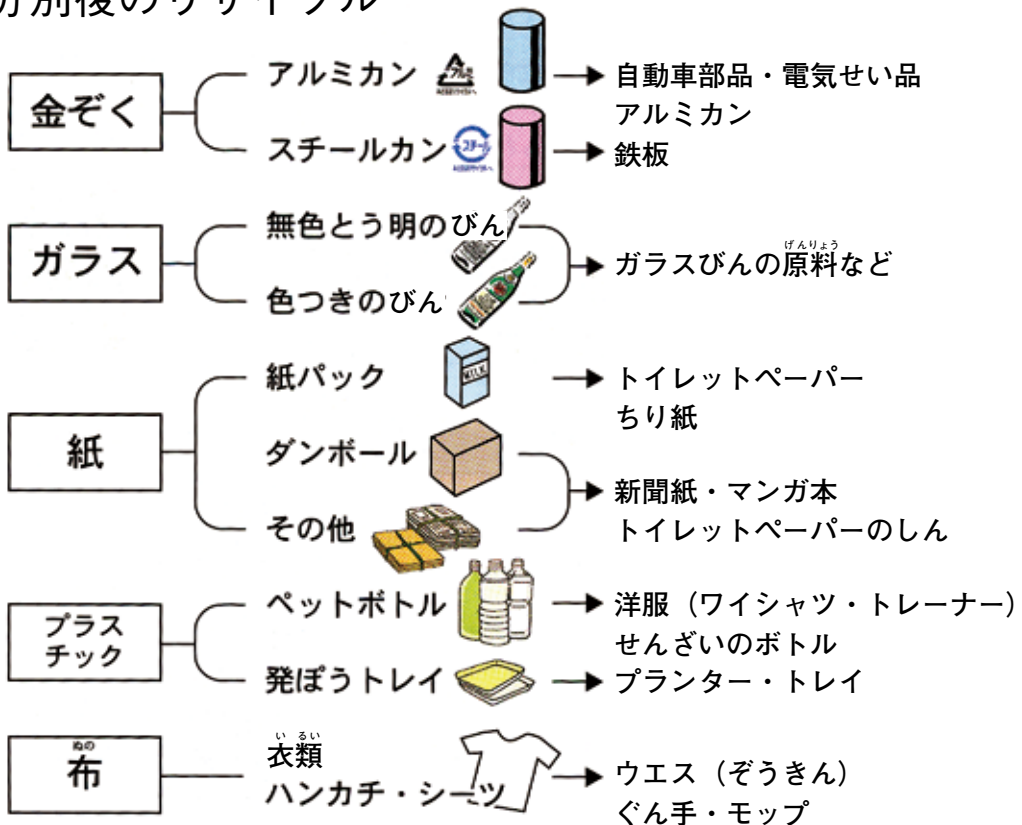
## お母さんの話

笠間市では、新聞紙・ダンボール・ペットボトル・牛にゅうパック・発ぼうトレイなどを集めているのよ。

これはしげん物とよばれ、ふたたび生まれ変わって使えるようになるものなの。集めておくのがめんどうで、もえるごみとしてすてている人がいるんだって。他の友達<sup>ともだち</sup>の家ではどうかしらね。



## ぶんべつご 分別後のリサイクル



## ※2 エコフロンティアかさまのしくみ



### かんり 管理とう かんきょう学習しせつ

もちこまれるはいき物の受付やしせつの点けんを行います。また、かんきょうについて学習するためのしせつがあります。



### ようゆうしよりしせつ

1600℃の高温で、はいき物をもやすところではす。

また、そのエネルギーを使って電気をつくります。



### さいしゅう 最終しよ分場

できるだけさいりょうした後のはいき物を安全にうめ立てる所です。



### しんしゅすい しん出水しよりしせつ

最終しよ分場にふった雨水を集め、よごれた水をきれいにしよりしてから公共下水道に流します。

## かんきょうを守る

ごみをへらすため  
にわたしたちには、  
どのようなことが  
できるのでしょうか。



ペットボトルから生まれ  
変わったせい品



ダンボールのリサイクル品

ちきゅうにやさしい



グリーンマーク



あき缶はリサイクルへ



あき缶はリサイクルへ

PET再利用品

いろいろなマーク

これらのマーク  
は何を表している  
んだろう。他にも  
かんきょうを守る  
マークはないか、  
もっとくわしく調  
べてみよう。



さやかさんたちは、ごみをへらすこ  
とにつながるものを集めてみました。



「わたしのノートにはグリーン  
マークがついているわ。」



「うちのトイレットペーパーのふ  
くろにもエコマークがついていた  
よ。」



「わたしたちのまわりの物には、  
たくさんのマークがついているの  
ね。」

ごみはすててしまうのではなく、も  
う一度利用するというリサイクル運動  
が真けん<sup>りよう</sup>に考えられるようになってき  
ました。

わたしたちが進んでしげん物に出す  
ことで、しげん物のはじめて役に立ち  
ます。それが地球のかんきょうを守る  
ことにつながります。

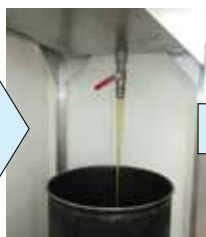
わたしたちがかんきょうを守るためにできることを、他にも考えてみましょう。

## ごみしよりのくふう

給食センターや市内小・中・ぎむ教育学校、幼稚園や保育所などからでた使わなくなった油を集めて再利用しています。ろかする作業場でフィルターを通して小さなゴミをとりのぞいています。その油に灯油や重油をまぜて燃料として利用しています。



「給食センターで使った油を再利用して、燃料にしているんだね。」



油を再利用する流れ

さやかさんたちは、ごみについての学習をふり返り、自分たちにできることを、地いきの人たちによびかけることにしました。



「公園や道路にごみが落ちてると美しい市とはいえないね。クリーン作戦をよびかけたらどうかしら。」



集めたごみを分別する

かんきょう アール

### 環境にやさしい3つの(R)

- R**educe **リデュース** (発生抑制) ほっせいよくせい  
ごみをへらして、できるだけさないことです。
- R**euse **リユース** (再利用)  
使えるものは、くり返し使うことです。
- R**ecycle **リサイクル** (再生利用) さいせい  
しげんにもどしたりエネルギーとして利用したりすることです。



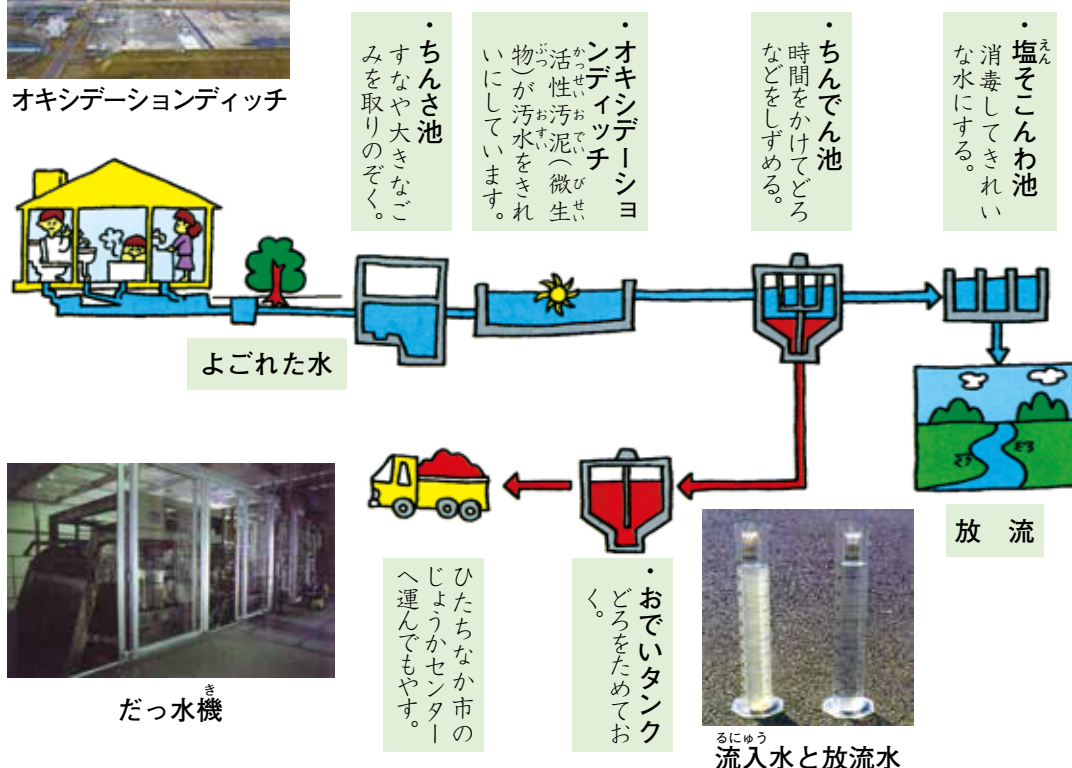
## 下水しよりと利用

わたしたちが毎日使用している水が、そのまま川に流れ、水をよごす原因になっています。このよごれた水を、もとのきれいな水にして、川にもどしてやるためのせつびとして下水道があります。



オキシデーションディッチ

### 下水しより場のしくみ



家庭や学校、工場などで使われた水は、下水道を通過して、下水しより場に集められます。下水しより場では、ごみやどろを細かく分けて下にしずめ、上の方のきれいな水を消毒して川に流しています。笠間市の一部のよごれた水は、矢野下（宍戸小学区）・土師にあるじょうかセンターできれいにし、湊沼川に流しています。

# 6

## 自然災害からくらしを守る

わたしたちが住んでいる地域では、どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。

### さまざまな自然災害



令和元年 台風19号の水害 (水戸市)



令和元年 はんらんしたなか川周辺 (水戸市)

さやかさんたちは、自然災害について気づいたことを話し合いました。



平成26年 台風18号のひ害 (笠間市)



「わたしたちの住む地いきでも、毎年自然災害がニュースになるね。年々台風のひ害が、大きくなっているね。」



「平成26年の台風も川の水がふえてひ害がでているね。」



「さいきんでは、令和元年の秋にたくさんの台風が県内を通過して、大きなひ害が出ましたね。」



「ひ害が出たのは、川が多いことや山に近いことが関係しているのかな。」



「東日本大震災のときには、県内各地で大きなひ害が出たと聞いたことがあるよ。」



「大雨や地震はいつ起きるかわからないよね。」



「ひ害をおさえるために、どんな取り組みがあるのかな。」

テレビでは、自衛隊が活やくしているすがたが見られましたね。



地震によって、どのようなことが起きるのでしょうか。

## 1 地震からくらしを守る

### 地震が起きたら

さやかさんたちは、東日本大震災のときの写真を見ながら話し合いました。



「校庭に大きな亀裂が入った学校もあったそうです。」



「道路にもひび割れができたのですね。これでは、緊急車両は入れないですね。」



「屋根のかわらが落ちてきて、道路が通れなかったのですね。停電も続いて不便だったそうです。」



道路のひ害



商店街のひ害

### ※1 津波

地震などにより、海底が変化して起きる波。津波の力は大きく、家や車がかんたんにのみこまれて、流れてしまう。

### ※2 液状化

地震のゆれで地面がゆさぶられ、地面が液体のじょうたいになる。



「一日も早い復旧のために、多くの人々が支援にかけつけてくれたのですね。」



「ほかの市町村では、※1津波や※2液状化などのひ害もあったそうです。そうしたひ害をおさえるために、市ではどんな対策をしているのかな。」



「東日本大震災のときの様子について、お家の人にインタビューをしてみたいな。」



「このように大きな地震のときには、家族でどのように行動したらよいか考えておく必要があるね。」



笠間稲荷神社のひ害

## 地震とわたしたちの生活

地震から暮らしを守るために、だれがどのようなことをしているのでしょうか。

ありささんたちは、大きな地震によって、わたしたちの暮らしがどうなるのかを話し合いました。



「家がこわれた人たちは、どこにひなんするのかな。」



「道路が通れなくなると、助けに来られるのかな。」



「みんなで力を合わせて協力しないといけないね。」



ひなん所の様子



給水所の様子

家庭では、どのような取り組みをしているのでしょうか。

## 家庭でそなえているもの

ありささんたちは、大きな地震によって、わたしたちのくらしがどうなるのかを話し合いました。



「家族でひなんする場所を決めておくことが大切だよ。」



「水や食べ物、ラジオなどは、自分でもそなえています。」



「トイレやお風呂が使えなくなると、すごくこまるな。」

地震が起きたときにどのようにするか、ふだんからそなえておくことが大切だね。



家族で防災について話し合った内容を発表し合い、地震へのそなえについて考えたことをみんなで話し合ってみましょう。



「電池がきれてしまっても大じょうぶなように、新しい電池を買っておくことにしました。」



「電話がつかないときには、近くのひなん場所に行くことにしたよ。」



「ひなんのときのもちものを、バッグに入れてわかるところにおくことにしました。」



家庭でそなえているもの

学校や通学路では、  
どのような取り組みを  
しているのでしょうか。

## 学校や通学路<sup>つうがくろ</sup>でそなえているもの

ひろしさんたちは、学校ではどんな  
対<sup>たい</sup>さくをしているか、話し合いました。

### ※耐震補強<sup>たいしん ほきょう</sup>

自然災害<sup>さいがいがい</sup>でたて物が  
こわれないように、鉄  
骨を付けてゆれに強く  
する。



「学校では、ひなん訓練<sup>ひなんくんれん</sup>を行っ  
ているね。」



「まどぎわの鉄骨<sup>てつこつ</sup>は、たて物を地震<sup>じしん</sup>  
に強くするためのものなんだね。」



「地震で水道が使えないときでも使える井戸<sup>いど</sup>があるらしい  
よ。」



「教室でも高いと  
ころに物をおかない  
ようにしたり、  
転とうぼう止をし  
たりして地震にそ  
なえているね。」



学校でのひなん訓練<sup>ひなんくんれん</sup>



災害<sup>さいがいがい</sup>のときに使うことができる井戸



※耐震補強のための筋交い<sup>すじか</sup>





ひょうしき  
ひなん所を示す標識



工事でおれにくくなったへい



←防災倉庫

↓防災倉庫の中



災害のときにトイレになるベンチ

ありささんたちは、校内や学校の周りの見学をしました。



「どこにひなんするか分かるように、<sup>ひょうしき</sup>標識で知らせているよ。」



「地震でおれてしまうかもしれないへいを新しくして、たおれにくくする工事をしたんだね。」



「<sup>ぼうさい そうご</sup>防災倉庫には、食べ物や毛布、ヘルメットなど、災害がおきたときのそなえがあるんだね。」



「災害のときにトイレになるベンチがあるんだね。このほかに、市ではどんな取り組みをしているかな。」

ありささんたちは、笠間市全体でどんな取り組みをしているか調べることにしました。

笠間市では、地震にそなえてどのような取り組みをしているのでしょうか。

## 市の取り組み

ありさんたちは市役所に行って、地震にそなえてどのような取り組みをしているか話を聞きました。



「地いきの危険度マップがあるそうです。」



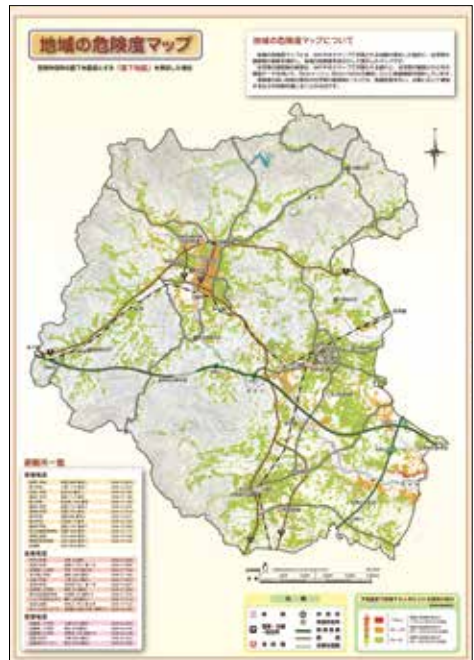
「地震が起きたときのたて物のひ害を予想して、色分けしたマップだそうです。」



「危険な地いきのたて物には、耐震補強をすすめることもあるそうです。」



「ひなん所のじょうほうや危険をへらすための工夫、地震が起きたときにどうすればよいかも知ることが大切だね。」



ちいき  
地域の危険度マップ



## 市役所の防災担当の方の話

笠間市では、台風や地震などが起きたときにどうするかなどを、「地域防災計画」に定めています。また、市民の方々がすばやく安全にひなんできるように、こう水が起きるかもしれないところやひなん場所などのじょうほうを地図にのせた「※防災のしおり」をつくっています。災害のときに大切なのは、「自助」(自分の身は自分で守る)です。災害が起きたらどのように行動するか、いざというときに何をそなえておくか、ふだんから家族で話し合っておきましょう。



「地震が起きたときにそなえて色分けした地図をつくっているんだね。」



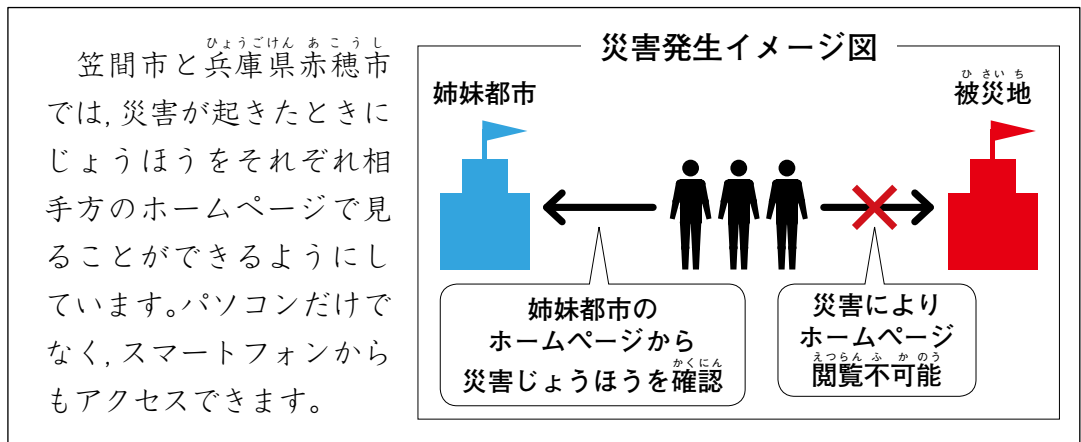
「わたしが住んでいるところはどうなっているんだろう。」



「笠間市のホームページを見ると、たくさんのじょうほうがのっていました。」



「自然災害でホームページが使えなくなったときのために、兵庫県赤穂市とじょうほうの連けいをしているようです。」



しまいとし 姉妹都市とのじょうほう連けい

**※防災のしおり**

市民一人一人が危険のあるところを知り、ひなでできるようにしています。市役所においてあったりホームページで見たりすることができるようになっていきます。



次に、ひろしさんたちは、笠間市と地いきの人々の協力や連けい、役わり分たんについて調べることにしました。

市と住民はどのような取り組みをしているでしょう。

## 市と住民の協力

笠間市では、市と住民が協力して、ひなん行動計画を立てたり、防災訓練を行ったりしています。



「地いきのことにくわしい人の意見を聞くことは大切だね。」



「近所にだれが住んでいるかは、地いきの人がよくわかるね。」



「笠間市の防災のしおりには、いろいろなじょうほうがのっているよ。」



「防災のしおりには、ひなんのポイントや家庭での安全対策についてもかかれています。」



「※ハザードマップを見ると、災害のときに危険な場所がわかるね。」

### ※ハザードマップ

自然災害のひ害を予想し、ひ害をうけるはんいを地図にしたものです。これを活用することで、市民がすばやくひなんできるようになっています。



地いきの人との話合いの様子

出典：防災のしおり

出典：防災のしおり

**避難に対する基本的な考え方**  
避難は自ら行動を

**命を守る最低限の行動を**

- 高層や危険な場所では避難経路の危険箇所がわからにくい
- ひざ上まで浸水している「50センチ以上」
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れが速い
- 浸水は10センチ程度だが、電線等の位置が不明で転倒の恐れがある

● 土砂災害の危険がある地域に住んでいる  
● 浸水の危険がある地域に住んでいる  
● 子どもや高齢者など緊急避難者がいる

**早期の避難を心がけてください**

新築での建設は当然です。浸水による建物損傷の危険がないと判断される場合には、自宅や避難の建物の必要は上へ避難し、初期を待つことが期待して大丈夫です。

ひなんのポイント

**避難に関する3つの情報**

- 1. 避難準備・高齢者等避難開始**
  - 人的被害が発生する危険性が高まった状況
  - 避難するのに時間がかかる方は避難を開始
  - 通常の避難行動ができる人は、準備を始めます
- 2. 避難勧告**
  - 人的被害が発生する危険性が明らかに高まった状況
  - 発令された地域すべての住民は避難所に避難します
- 3. 避難指示（緊急）**
  - 人的被害が発生する危険性が非常に高まった状況（あるいはすでに被害が発生している状況）
  - 全ての住民は避難が完了していなければなりません
  - 避難する余裕がない人は命を守る最低限の行動をとります

避難によって被害が拡大する恐れがある場合は、避難場所を指定された避難所へ避難してください。

ひなんに関する3つのじょうほう



住民どうしでは、  
どのような取り組みを  
しているのでしょうか。

## 住民どうしの協力

笠間市には、自主防災組織ぼうさい そしきがあります。災害さいがいのときに助け合あって地いきちの人々を見守まもっていけるように、市と

協力きょうりょくして防災訓練くんれんを行っています。訓練には、地いきの人や子どもたちも参加さんかしています。



「地いきの人たちが参加して、自主防災組織がつくられているんだね。」

## 地域ぐるみで防災を

### 自主防災組織とは？

大規模な災害時には、建物の倒壊、道路の寸断や交通渋滞、通信手段の混乱などから、市役所や防災関係機関だけでは十分な防災活動ができないことが考えられます。そんなとき頼りになるのは、住民自身が自発的につくる防災のための組織（自主防災組織）です。普段から町内会や自治会の集まりなどを利用して、防災についてよく話し合い、わがまちを災害から守るための自主防災組織をつくっていきましょう。その活動を通じて、住民同士の連帯感と防災意識を高めておくことが、災害に強いまちづくりにつながります。



### 活動内容と役割分担

#### ●平常時の活動

- 防災知識の普及……………正しい知識を身につけるため、防災訓練や講習会を通じて防災知識の普及を図る。
- 地域内の防災環境の確認……………災害が発生したときに、地域内に被害の拡大につながる要因がないか確認する。援助が必要な高齢者や身体の不自由な人を把握しコミュニケーションをとっておく。
- 防災訓練の実施……………日ごろから災害に備え訓練をし、防災活動に必要な知識や技術を習得する。
- 防災用資機材の整備……………消火活動、応急処置、救出・救護に必要な資機材の整備・点検を行う。

#### ●災害時の活動

- 情報収集……………災害に関する情報の収集と情報伝達を行う。
- 消火活動……………出火防止及び初期消火活動を行う。
- 避難誘導……………避難経路・避難場所の安全確認と誘導。高齢者や身体の不自由な人への対応を行う。
- 救出救護……………応急救護物資を整え、自備者の救出、救護隊への搬送を行う。
- 防食・給水……………水や食料を配分し給食・給水活動を行う。



### 要配慮者への協力

高齢者や障害のある方は、生命の安全を守るための迅速かつ確かな行動がとりにくく、災害時の対応が困難な立場にあります。普段からコミュニケーションをとり、災害時にはすぐ駆け付け、行動を共にしてあげましょう。



ちいき  
地域ぐるみで防災を

出典：防災のしおり



## 7 きょう土の<sup>でんとう</sup>伝統・文化と先人たち

古い道具のほかに  
どんなものが笠間市  
の歴史<sup>れきし</sup>を伝えている  
のでしょうか。

### 有形文化財・重要文化財

たて物<sup>こうげい</sup>、工芸品、  
ちょうこくなど形のある  
ものでかちのある  
もの。とくに、国が指定  
したものを重要文化  
財という。

## 1 <sup>のこ</sup>残したいもの <sup>つた</sup>伝えたいもの

### 残っている古いたて物<sup>もの</sup>

ゆうまさんたちは、笠間市にある古いたて物を調べてみることにしました。



「笠間城<sup>じょう</sup>にあったやぐらは古くからのたて物だよ。」



「細かいほりものがされた稲荷神社<sup>いなりじんじや</sup>本殿は、国の重要文化財になっているよ。」



「古いぶつぞうのあるお寺もあるそうよ。」



「県の有形文化財<sup>ゆうけい</sup>になっている古いたて物もあるね。」



笠間城のやぐら (真浄寺)



笠間稲荷神社本殿



楞嚴寺山門 (笠間地区)





昔の様子を伝えるものには、どんなものがあるのでしょうか。

## 昔の様子を伝えるもの

さやかさんたちは、昔の様子を<sup>つた</sup>伝えるものをいろいろ見つけました。



道しるべ(岩間地区)



「石でできた道しるべです。昔の人は、これをたよりに旅をしたそうだよ。」



「昔、馬や牛は、田をたがやしたり、荷物<sup>もつ</sup>を運んだりするときに使われ、とても大切でした。馬や牛をくようするために、馬頭<sup>ばとう</sup>観音<sup>かんのん</sup>がたてられたそうよ。」



馬頭観音(岩間地区)



「<sup>さしろさん</sup>佐白山の<sup>だいこくいし</sup>大黒石から<sup>おおてもん</sup>大手門あとを通り、坂道<sup>さかみち</sup>をのぼっていくと、お城の石がきがあるよ。」



笠間城<sup>じょう</sup>の石がき(佐白山)



節分祭 (笠間稲荷神社) 2月



お田植祭 (笠間稲荷神社) 5月

昔からつづけられている行事を調べてみましょう。

## 身近な地いきを見直そう

「ぎおん祭」は、子どもみこしやおとなみこしが出て、市内をねり歩きます。

また、「節分祭」や「やぶさめ」もたくさんの人でにぎわいます。

ほかにも、市にはたくさんの行事があります。

ゆうまさんたちは、昔から伝わる行事やそのいわれについて調べて、まとめることにしました。



ちわ  
茅の輪くぐり  
(笠間稲荷神社) 6月



ぎおん祭 (笠間地区) 8月



やぶさめ (笠間稲荷神社) 11月



平神社ぎおん祭 (友部地区) 7月



五平のぼんづな (友部地区) 8月

人々のどんな願いがこめられているのでしょうか。



「平神社ぎおん祭は、古くから続いている祭りなんだよ。」



「五平では、おぼんのときに子どもたちがぼんづなを引いて地いきの家を歩きます。」



「六所神社の祭りは、ししやだしがくり出され、とてもにぎやかだよ。」



「悪態祭りは悪口を言いながらおそなえ物を取りあう、めずらしいお祭りだよ。」



六所神社の祭り (岩間地区) 11月



悪態祭り (岩間地区) 12月

笠間市の発てんにつくした人々には、どんな人がいるのでしょうか。

## 2 地いきの発てんにつくした人々

ひろしさんは、笠間<sup>にちどうび</sup>日動美じゅつ館でおこなわれている絵画てんに、お父さんと出かけました。笠間日動美じゅつ館には、県の内外からお客さんが来ていました。ひろしさんは、お父さんから、笠間市にある美じゅつ館や芸<sup>げい</sup>じゅつの村などについて、いろいろお話を聞きました。



「笠間市は、昔から芸じゅつや文化を大切にしてきたよ。笠間日動美じゅつ館は、長谷川<sup>はせがわじん</sup>仁という笠間生まれの人が、世界の名画を笠間の人たちに見せたいという願いで建てたものなのだよ。」



「笠間は、焼物<sup>やきもの</sup>も有名だよね。」



「焼物では、田中<sup>たなかともさぶろう</sup>友三郎という有名な人もいたよ。調べてみるといいね。」

ひろしさんは、さっそく友だちと調べてみることにしました。



笠間日動美じゅつ館(笠間)

## 笠間焼をひろめた田中友三郎の生い立ち

友三郎は、1839年（天保10年）11月8日岐阜県の武士の家に生まれました。しかし、家庭の事情からおじの家で育てられました。18歳の時、江戸（今の東京）に出て陶器販売を始めました。岐阜の焼物を江戸へ輸送すると、重くこわれやすくなります。そこで、江戸の周辺で陶器の生産地をさがして歩いていました。



田中友三郎

友三郎が笠間に来たのは、1861年（文久元年）22歳の時です。このころ笠間の焼物は、『箱田焼』とか『宍戸焼』などとよばれていました。この焼物を友三郎は『笠間焼』という名で江戸で売り始めたのです。

## 笠間焼をはじめめる

売りはじめると、笠間焼は、岐阜の焼物よりもよく売れました。友三郎は自分で『笠間焼』をつくり、売るようになりしました。海外へ売ることに力を入れました。

1881年（明治14年）には東京上野の森で行われた博覧会で、友三郎は自分でつくった茶つぼを出品してみごと入賞しました。茶つぼは、海外にとぶように売れました。国内では、すりばちを中心に売りました。やがて笠間焼のすりばちは国内の市場にも広まるようになりしました。

## くみあい 組合をつくる

友三郎は、『笠間焼』の発てんには、かま元がたがいに協力して助け合うことが大切であると、考えていました。組合をつくることにも、ど力しました。

1881年（明治14年）に西茨城郡陶器製造組合ができました。この組合は、せい品のねだんをみんなで相談して決めました。また、働く人の約束も決めました。すべて、『笠間焼』の信用を高めようとしたものです。そして、よいせい品をつくるために、できたせい品を組合でしんさしました。

1902年（明治35年）には、友三郎のよびかけで笠間陶器伝習所をつくる計画が立てられ、1907年に完成しました。この伝習所は、しよく人を育てることと、品質の向上とぎじゅつの改良を目指しました。今は、茨城県立笠間陶芸大学校がその仕事をしています。

このように友三郎は、『笠間焼』を世に出し、みんなが協力して、よい品物をつくることに力をつくしました。『笠間焼』の発てんとともに歩んだ友三郎は、1913年（大正2年）1月24日、多くの人々におしまれながら73歳でなくなりました。



友三郎をたたえる碑  
(笠間工芸の丘)



現在の茨城県立笠間陶芸大学校  
(笠間地区)

## 発てんにつくした人々<sup>ひとびと</sup>

次の4人の人々は、笠間市の発てんにつくした人々です。このほかにも、地いきの発てんにつくした人々がたくさんいます。くわしく調べてみましょう。

きむら ぶざん  
木村 武山 (1876～1942)



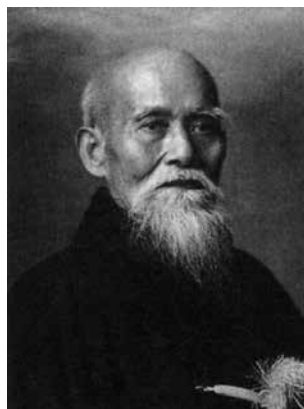
とうきょう  
東京美じゅつ学校で絵の勉強をし、日本画の発てんに力をつくしました。

また、笠間ですぐれた画家もたくさん

育てました。

箱田の実家に大日堂<sup>だいにちどう</sup>を建て、りっぱなへき画をかきました。

うえしば もりへい  
植芝 盛平 (1883～1969)



あいき どうかい そ  
合気道開祖の植芝盛平は、岩間駅の東400mほどのところにある吉岡<sup>よしおか</sup>という所<sup>しょうわ</sup>で、昭和10年代にきびしいしゅ行

を重ね、合気道を完成させ、国内および世界に広めました。

つる たとくさぶろう  
鶴田徳三郎 (1914～2001)



1945年(昭和20年)、以前から希望していた花づくりに取りかかりました。秋ぎくをさいばいしたところ、水戸の市場でひょうばんが良

く、次の年からは新しい品種<sup>ひんしゅ</sup>を取り入れ、生産量<sup>せいさんりょう</sup>をふやしていきました。笠間のきくづくりの発てんに力をつくしました。

まつ い み めい こうせい  
松井美明(康成) (1927～2003)

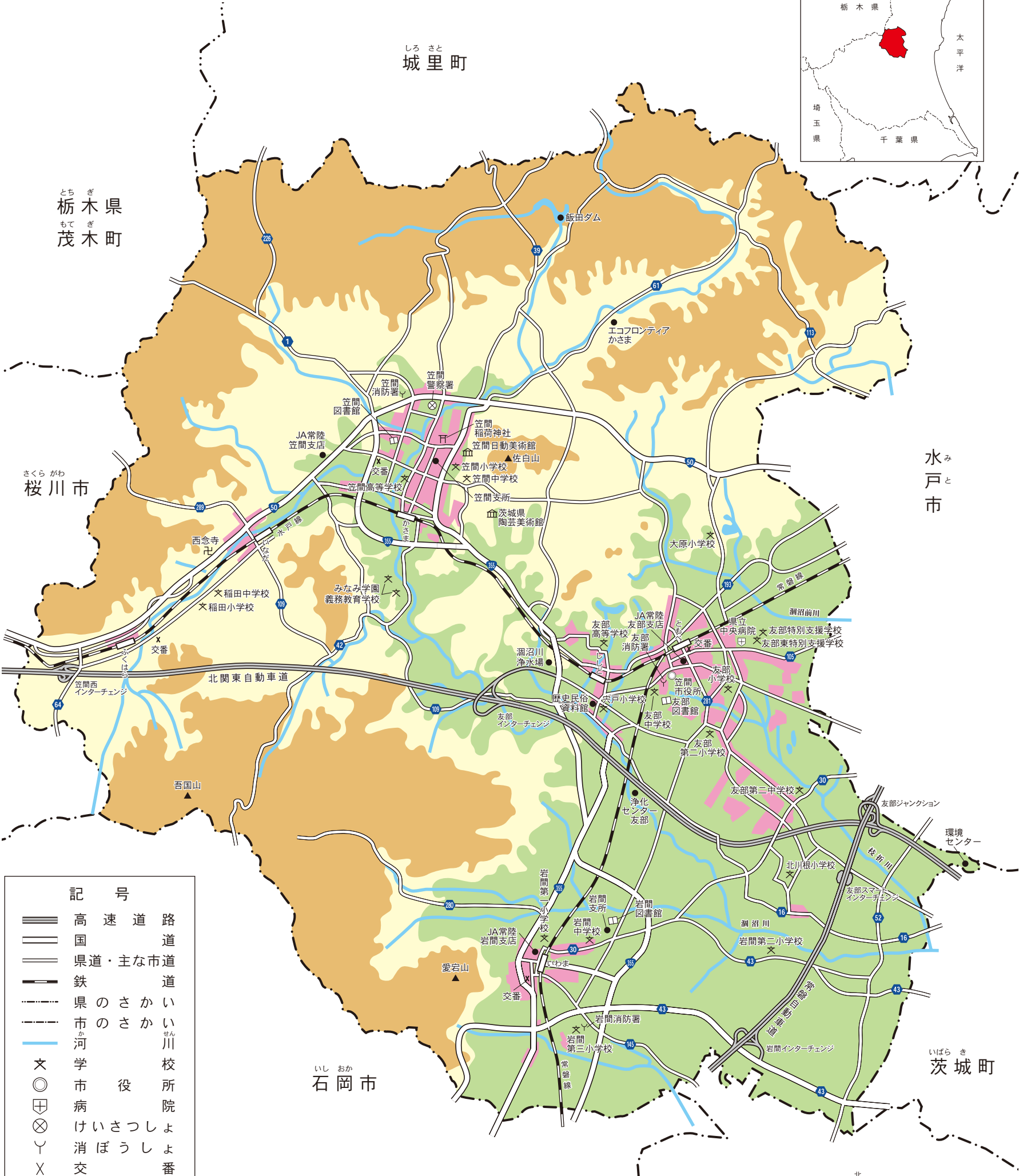


げっそう  
月崇寺の住しよく。1960年(昭和35年)に境内<sup>けいだい</sup>に窯<sup>かま</sup>をきずき、「練上<sup>ねりあげ</sup>」という伝<sup>でん</sup>とう的なぎ法について研究を重ね、どく

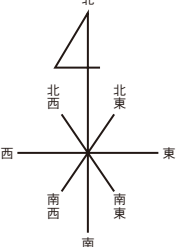
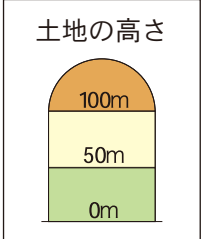
特のぎ法をかく立しました。また1993年(平成5年)に、重要無形文化<sup>じゅうようむけいぶんか</sup>ざいほ持者(人間国ほう)ににん定されました。



# 笠間市全図



- 記号**
- ≡ 高速道路
  - == 国道
  - 県道・主な市道
  - 鉄道
  - - - 県のさかい
  - - - 市のさかい
  - 川
  - 文 学校
  - 市役所
  - ⊕ 病院
  - ⊗ けいさつしょ
  - Y 消防しょ
  - X 交番
  - 卍 神社
  - 卍 寺院
  - 血 博物館・美術館
  - ▲ 山
  - 建物・場所
  - 建物が多いところ



とちぎ 栃木県  
もてぎ 茂木町

しろ さと 城里町

さくら がわ 桜川市

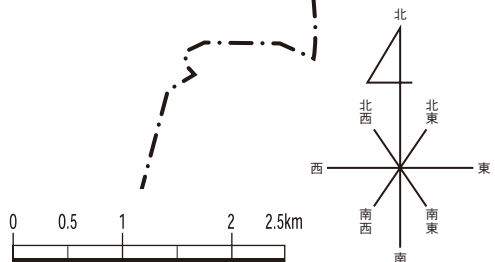
水戸市

いし おか 石岡市

茨城町

おみ たま 小美玉市

# 白地図



# 「笠間市」のうつりかわり

今から	せいれき	時代	年	市のできごと	くらしのうつりかわり	
150年前	1868	明	元		○明治時代が始まる。	
	1872		5	・ゆう便局が <sup>びん おおまち かさまちく</sup> 大町(笠間地区)にできる。	・人力車・乗合馬車が走るようになる。	
	1873		6	・小学校ができる。		
1874	7		・けいさつしょが <sup>いばらき にいはり</sup> 大町(笠間地区)にできる。			
140年前	1875		8	・茨城・新治の二つの県がまとめられて茨城県となる。		
	1881		14	・笠間焼の組合ができて、さかんに <sup>やきもの</sup> 焼物がつくられるようになる。		
	1886		19	・安居(岩間地区)に製糸所ができる。		
130年前	1889		22	・ <sup>かさまち おおいけ たむら</sup> 笠間町、 <sup>きたやまうちむら にしやまうちむら</sup> 大池田村、 <sup>にしやまうちむら</sup> 北山内村、 <sup>みなみやまうちむら</sup> 西山内村、 <sup>ししどまち</sup> 宍戸町、 <sup>おおはらむら</sup> 大原村、 <sup>きたかわねむら</sup> 北川根村、 <sup>こいぶちむら</sup> 鯉淵村、 <sup>むら</sup> 岩間村、 <sup>みなみかわねむら</sup> 南川根村ができる。		
	1890		23	・水戸線がしかれ、 <sup>おたまちえき</sup> 笠間駅と <sup>ししどえき</sup> 大田町駅(今の宍戸駅)ができる。		
			28	・ <sup>おしのべ</sup> 押辺(岩間地区)に機械製糸工場ができる。		
	120年前		1895	28	・ <sup>ふくほらえき</sup> 福原駅ができる。	
			1896	29	・ <sup>じょうぼんせん</sup> 常磐線がしかれ、 <sup>ともべえき</sup> 友部駅と <sup>かさまちえき</sup> 岩間駅ができる。	
1897			30	・ <sup>あらかち たかはしまち</sup> 荒町と <sup>たかはしまち</sup> 高橋町に大火事が起こる。		
110年前	1896		29	・ <sup>なべしまひこしちろう いなだ</sup> 鍋島彦七郎が、 <sup>いなだ</sup> 稲田(笠間地区)で <sup>せきざいぎょう</sup> 石材業を始める。		
	1901		34	・ <sup>あご</sup> 安居(岩間地区)に県内最初の <sup>さんぎょう</sup> 産業組合ができる。		
	1907	40	・ <sup>とうきでんしゅうじょ</sup> 笠間陶器伝習所ができる。			
	1909	42	・組合立農学校が開校する。			
100年前	1909	42	・ <sup>いなり</sup> 笠間稲荷神社で <sup>きく</sup> 菊祭りが始まる。			
	1912	元		○大正時代が始まる。		
	1922	11	・ <sup>あご</sup> 間村が <sup>かさまち</sup> 岩間町となる。			
90年前	1923	12	・ <sup>おおさわ</sup> 大沢(友部地区)に県の <sup>しゅちくじょう</sup> 種畜場ができる。(今の <sup>ちくさんし</sup> 畜産試験場あと地)			
	1926	15				
	1935	10	・ <sup>きむらぶざん</sup> 木村武山が <sup>ほこだ</sup> 箱田(笠間地区)に <sup>だいにちどう</sup> 大日堂を建てる。			
80年前	1937	12	・ <sup>あご</sup> 宍戸町役場ができる。			
	1938	13	・ <sup>あご</sup> 宍戸(友部地区)に大水のひ害が起こる。			
	1941	16	・ <sup>がくどう</sup> 学童そかいの <sup>じどう</sup> 児童が来る。			
70年前	1945	20	・ <sup>なむさんづけ</sup> 随分附(友部地区)で <sup>きく</sup> 菊づくりが始まる。			
	1947	22	・中学校ができる。			
	1948	23	・ <sup>きょうどう</sup> 農業協同組合ができる。			
	1949	24	・ <sup>けんようぎょう</sup> 県立指導所ができる。			
	1954	29	・ <sup>にしやまうちむら</sup> 西山内村が <sup>いなだ</sup> 稲田町となる。			
	1955	30	・ <sup>かさまち</sup> 笠間町と <sup>あご</sup> 岩間町が合併して新しい <sup>かさまち</sup> 笠間町ができる。			
	1956	31	・ <sup>あご</sup> 宍戸町、 <sup>おおさわ</sup> 大原村、 <sup>きたかわねむら</sup> 北川根村、 <sup>こいぶちむら</sup> 鯉淵村の一部が合併して、 <sup>ともべえき</sup> 友部町ができる。			
60年前	1958	33	・ <sup>にしやまうちむら</sup> 西飯田(友部地区)に県立の中央病院ができる。			
		33	・ <sup>いなだ</sup> 笠間町と <sup>いなだ</sup> 稲田町が合併して <sup>かさまち</sup> 笠間市となる。			
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		
				・ <sup>かまもつ</sup> 貨物自動車 <sup>たいへいようせんそう</sup> が走るようになる。		
				○ <sup>たいへいようせんそう</sup> 太平洋戦争が始まる。		
				・戦争で <sup>あご</sup> 人びとのくらしが苦しくなる。		
				○太平洋戦争が終わる。		

今から	せいれき	時代	年	市のできごと	くらしのうつりかわり
50年前	1961	昭	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>常磐線に電車が走るようになる。</li> <li>岩間に大水のひ害が起こる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かんい水道ができる。</li> <li>テレビ(カラー)が普及し始める。</li> </ul>
	1964		39		○東京オリンピックが行われる。
	1967		42	<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸線に電車が走るようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみしよ理場ができる。</li> </ul>
	1970		45	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭町(友部地区)に団地がつけられるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽自動車が普及し始める。</li> </ul>
	1972		47	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道50号がととのう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上水道事業が始まる。</li> </ul>
	1974		49	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉バスが走り始める。</li> </ul>	○茨城県で国民体育大会が開かれる。
40年前	1978	和	53	<ul style="list-style-type: none"> <li>北山公園のしせつが整い始める。</li> <li>栗園が岩間全域に広がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子レンジが普及し始める。</li> <li>コンビニエンスストアが日本各地にでき始める。</li> </ul>
	1981		56	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍戸(友部地区)に歴史民俗資料館ができる。</li> <li>友部駅前に広場ができる。</li> </ul>	
	1982		57	<ul style="list-style-type: none"> <li>陶炎祭が始まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭用ゲーム機が普及し始める。</li> </ul>
	1984		59	<ul style="list-style-type: none"> <li>常磐自動車道が開通し、岩間インターチェンジができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホンステレオが普及し始める。</li> </ul>
	1985		60		○科学万博つくば85が開かれる。
	30年前		1989	平	元
1990		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田ダムができる。</li> </ul>		
1991		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県教育研修センターができる。</li> <li>笠間駅前に広場ができる。</li> <li>宍戸(友部地区)に涸沼川じょう水場ができる。</li> <li>矢野下(友部地区)に友部水しよ理センターができる。</li> <li>北川根(友部地区)に環境センターができる。</li> <li>笠間芸じゅつの森公園ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>パーソナルコンピュータが家庭に普及し始める。</li> </ul>
1992		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩間工業団地ができる。</li> </ul>		○長野オリンピックが行われる。
1993		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたご天狗の森に「スカイロッジ」ができる。</li> </ul>		
1994		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゆかいふれあいセンター」ができる。</li> <li>「笠間ショッピングセンター・ポレポレ」ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットが家庭に普及し始める。</li> </ul>
20年前	1995	成	7		○阪神・淡路大震災が起こる。
	2000		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道の友部インターチェンジができる。</li> <li>茨城県陶芸美じゅつ館ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話が普及し始める。</li> <li>ホームセキュリティが普及し始める。</li> </ul>
	2005		17	<ul style="list-style-type: none"> <li>福田(笠間地区)に「エコフロンティアかさま」ができる。</li> <li>岩間駅西側広場ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル三種の神器(DVDレコーダー、デジタルカメラ、薄型テレビ)が普及し始める。</li> <li>オール電化住宅が普及し始める。</li> </ul>
	2006		18	<ul style="list-style-type: none"> <li>笠間市と友部町と岩間町が合併して、新しい笠間市ができる。</li> </ul>	
	2007		19	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道の笠間西インターチェンジができる。</li> <li>友部駅に北口ができる。</li> </ul>	
	2008		20	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道が東北自動車道とつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3D映画が上映され始める。</li> </ul>
10年前	2010	令	22		○茨城空港が開港する。
	2011		23		○東日本大震災が起こる。
	2012		24	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩間駅が橋上化となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地上波デジタル放送が始まる。</li> </ul>
	2015		27	<ul style="list-style-type: none"> <li>笠間小、東小、佐城小、箱田小が統合され、笠間小になる。</li> <li>笠間中、東中が統合され、笠間中になる。</li> <li>新笠間市誕生10周年記念事業「かさま市民運動会」が開かれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンが普及し始める。</li> </ul>
	2016		28	<ul style="list-style-type: none"> <li>新笠間市誕生10周年記念式典が開かれる。</li> <li>県窯業指導所が茨城県立笠間陶芸大学校に改称される。</li> </ul>	
	2017		29	<ul style="list-style-type: none"> <li>南小学校・南中学校をみなみ学園義務教育学校として設立される。</li> </ul>	
2019	和	元	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき茨城ゆめ国体2019が開かれる。</li> </ul>	○令和時代が始まる。	
2020		2		○東京オリンピック・パラリンピックが行われる。	

執筆 編集にたずさわった人

顧 問	笠間市教育委員会教育長	今泉 寛		
	笠間市校長会長	西野 勝美		
	笠間市教育研究会長	廣澤 敬		
	笠間市立笠間小学校長	石田 進		
	みなみ学園義務教育学校長	池田 直哉		
1	編集委員長	友部小学校	教頭	菅谷 和幸
2	副編集委員長	友部小学校	教諭	鴨川 竜彦
3	編集委員	笠間小学校	教諭	松田 一穂
4	〃	稲田小学校	教諭	海老澤 聡
5	〃	穴戸小学校	講師	宮本 康平
6	〃	友部小学校	教諭	岡崎蓮太郎
7	〃	北川根小学校	教諭	園部 佑介
8	〃	大原小学校	教諭	長峰 宏紀
9	〃	友部第二小学校	教諭	鈴木 美樹
10	〃	岩間第一小学校	教諭	安部 友子
11	〃	岩間第二小学校	教諭	田口 智也
12	〃	岩間第三小学校	教諭	真家 美帆
13	〃	みなみ学園義務教育学校	教諭	天笠垂矢子
14	事務局	学務課	指導主事	海老原靖志

小学校社会科副読本

「かさま」

令和2年4月1日発行

編集者 社会科副読本編集委員会

発行者 笠間市教育委員会

印刷 (有)テクノプラン



学校名	笠間市立	学校
3年	組	名前
4年	組	